

平成24年度

野鳥モニターによる

足立区野鳥調査報告書



足立区 環境部 環境保全課

表紙写真「バン」: 鈴木操氏提供 平成24年5月に舎人公園にて撮影

足立区では、平成4年度から、野鳥モニターの協力のもと区内で野鳥の生息調査を行っています。

平成24年度は、40人の野鳥モニターが区内41地域で調査を行い、75種、延べ38,584羽の野鳥を確認しました。

昨年度は、平成23年度と比べ、野鳥の種数や延べ数に大きな変化はありませんが、野鳥の種類によってはここ数年の間に確認される数が徐々に減少している種もあります。

区では、残された貴重な自然を保全し、未来へ引き継ぐため、今後も調査を続け、私たちが身の回りの環境とどう関わっていくべきか、考えていく道しるべにしたいと思っています。

区民の皆様が身近な野鳥を知ることがきっかけとなり、足立区以外で見かけた野鳥にも興味を持ち、少しずつでも自然環境への関心が高まることを期待しております。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝するとともに、この場を借りて心からお礼申し上げます。

平成25年8月 足立区環境部環境保全課

～ 目 次 ～

I	調査概要	1
II	調査結果	
1	年間確認数と個体数	4
2	区内で繁殖が確認された野鳥	6
3	調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4	調査月別確認数と確認個体数	9
5	確認個体数ベスト 10	10
III	平成 24 年度野鳥モニターによる観察記録	15
IV	調査時に気がついたこと	50
資料編		
資料 1	平成 24 年度野鳥モニター名簿・担当地域	51
資料 2	調査月別確認種と個体数	53
資料 3	ブロック別確認種と個体数	55
資料 4～9	各調査月に確認された野鳥	57
資料 10	年度別確認種及び個体数一覧表	63
資料 11	平成 24 年度野鳥モニター活動記録	69

I 調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果は広報等を通じて区民に知らせることにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2 調査期間

平成24年5月1日～平成25年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩きながら（時速2km程度）、観察された野鳥の種名・個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター40名による

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動

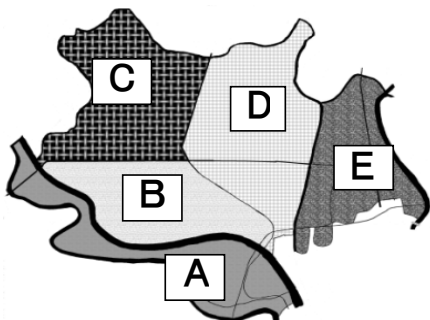
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から10時までの間の2時間程度。（調査回数は各地域とも年6回）

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で41地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地 域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町、千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
C	18	入谷三丁目
	19	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	20	舎人一・二丁目（見沼代親水公園含む）
	21	舎人公園
	22	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	23	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）



【調査地域】

Aブロック 9地域
 Bブロック 8地域
 Cブロック 6地域
 Dブロック 8地域
 Eブロック 10地域

計 41地域

ブロック	番号	地 域
D	24	梅島一～三丁目
	25	花畑七・八丁目
	26	島根全域
	27	西綾瀬全域
	28	西保木間一～三丁目
	29	花畑三～五丁目
	30	保木間一～三丁目
	31	保木間四～五丁目
E	32	大谷田一丁目
	33	大谷田二（中川含む）～五丁目
	34	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	35	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	36	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	37	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
	38	神明南一・二丁目、北加平町
	39	東和全域・谷中公園
	40	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	41	東綾瀬公園

平成24年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。

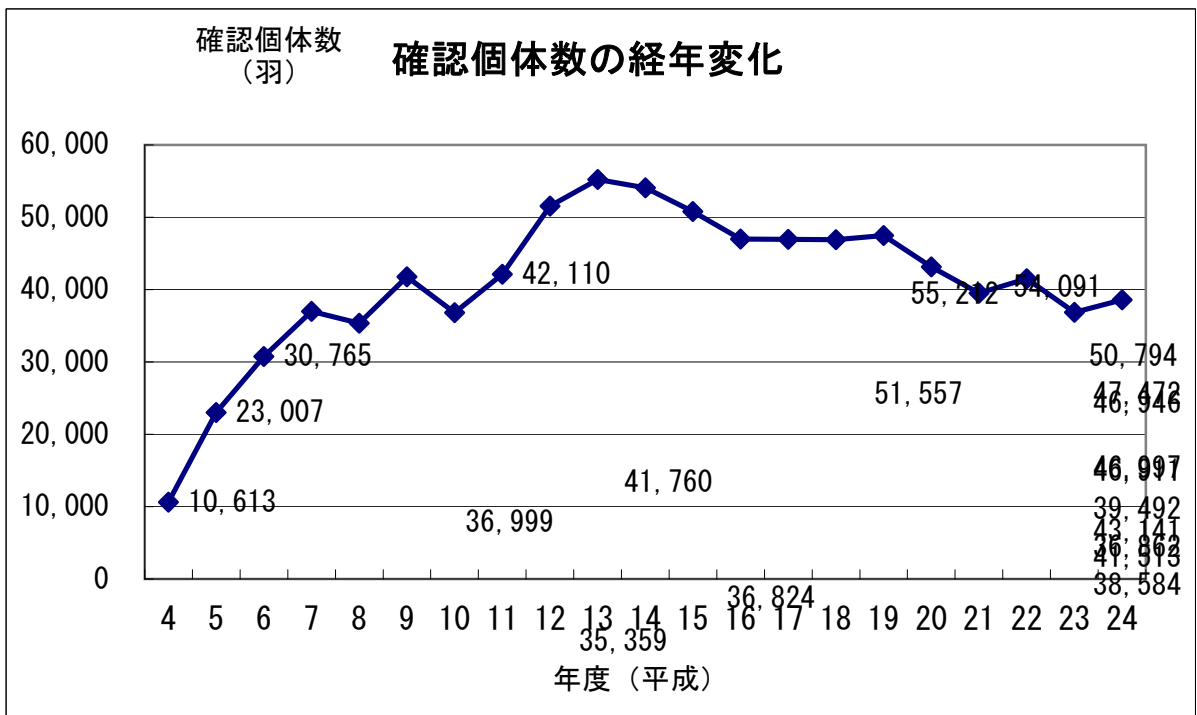
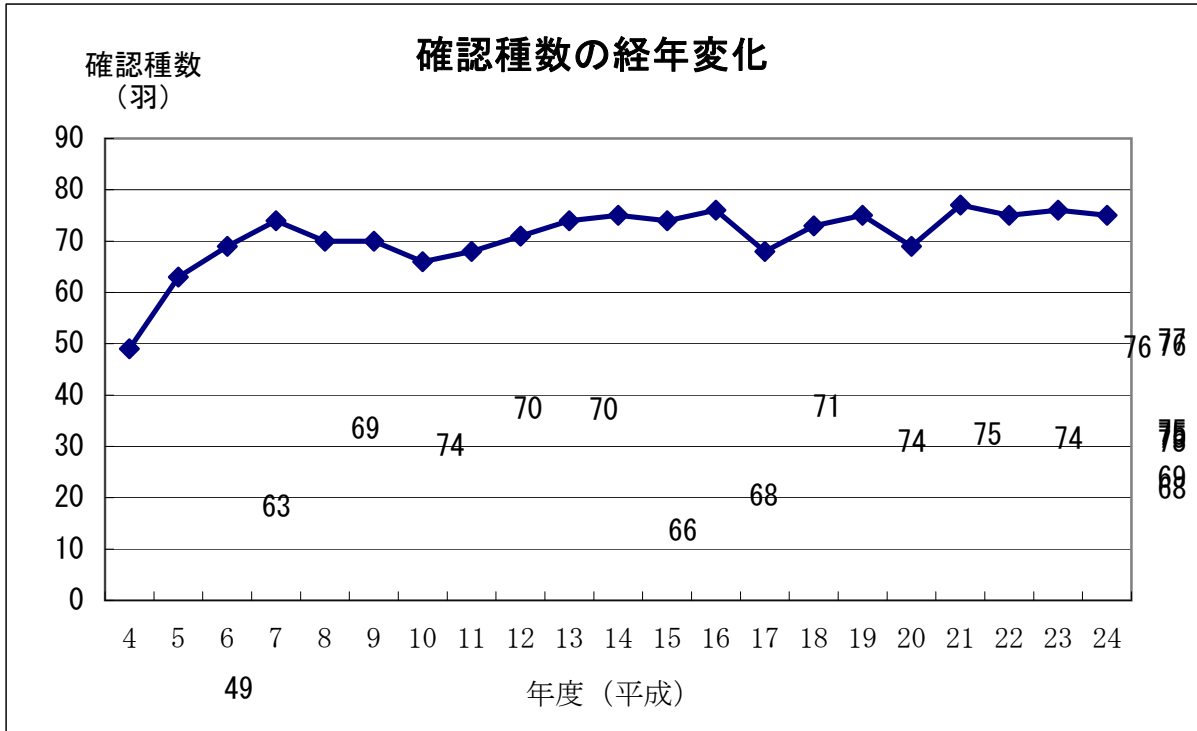
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成24年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41

Ⅱ 調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成24年度の調査で確認された野鳥は、75種、延べ38,584羽であった。



NO	目名	科名	種名	合計
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	21
2	ペリカン	ウ	カワウ	1,057
3	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	2
4			アカガシラサギ	1
5			ダイサギ	55
6			コサギ	59
7			アオサギ	90
8	カモ	カモ	マガモ	37
9			カルガモ	786
10			コガモ	163
11			オカヨシガモ	1
12			ヒドリガモ	805
13			オナガガモ	283
14			ハシビロガモ	43
15			ホシハジロ	3
16			キンクロハジロ	22
17			タカ	タカ
18	オオタカ	1		
19	ハヤブサ	ハヤブサ		2
20			チョウゲンボウ	19
21	ツル	クイナ	バン	86
22			オオバン	204
23	チドリ	チドリ	コチドリ	23
24			イカルチドリ	2
25			メダイチドリ	1
26		シギ	イソシギ	125
27			チュウシャクシギ	2
28			タシギ	10
29		カモメ	ユリカモメ	1,446
30			セグロカモメ	145
31			オオセグロカモメ	6
32			ウミネコ	98
33	コアジサシ		33	
34	ハト	ハト	シラコバト	1
35			キジバト	693
36	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	6
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	10
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	17

NO	目名	科名	種名	合計
39	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	50
40		ツバメ	ツバメ	506
41			イワツバメ	36
42		セキレイ	ハクセキレイ	500
43			セグロセキレイ	2
44			タヒバリ	133
45		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,597
46		モズ	モズ	66
47		ツグミ	ジョウビタキ	62
48			ノビタキ	1
49			イソヒヨドリ	4
50			アカハラ	7
51			シロハラ	14
52			ツグミ	875
53			ウグイス	ウグイス
54		オオヨシキリ		47
55		セッカ		36
56		ヒタキ	コサメビタキ	1
57		シジュウカラ	ヒガラ	10
58			シジュウカラ	651
59		メジロ	メジロ	494
60		ホオジロ	ホオジロ	49
61			カシラダカ	2
62			アオジ	108
63			オオジュリン	205
64		アトリ	カワラヒワ	693
65			マヒワ	24
66			ベニマシコ	4
67			ウソ	5
68			コイカル	2
69			シメ	23
70			ハタオリドリ	スズメ
71		ムクドリ	コムクドリ	3
72	ムクドリ		7,823	
73	カラス	オナガ	990	
74		ハシボソガラス	912	
75		ハシブトガラス	1,223	
	種名特定できず	サギSP	3	
		カモメSP	3	
		カラスSP	7	
	確認種個体数合計(羽)			38,584

※SP…種名まで特定できなかったもの

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

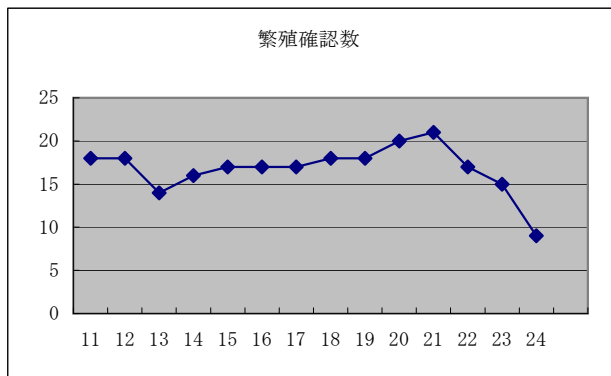
NO	目名	科名	種名	合計
	かご抜け		ワカケホンセイインコ	6
			セキセイインコ	1
	かご抜け個体数合計(羽)			7

2 区内で繁殖が確認された野鳥

平成24年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖が確認されたのは、9種であった。

《区内で繁殖が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1	カイツブリ	○										○			
2	ササゴイ							○	○	○		○			
3	ゴイサギ		○	○	○	○		○		○	○	○	○	●	
4	コサギ				○			○				○	○		
5	アオサギ				○										
6	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	チョウゲンボウ	○	○				○		○		○				
8	バン	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	コチドリ		○				○			○			○	○	
10	イソシギ			○								○			
11	コアシサシ						○		○						
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	ヒメアマツバメ								○	○					
14	カワセミ		○										○		
15	コゲラ					○					○			●	
16	ヒバリ	○						○			○		○		
17	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	イワツバメ	○	○					○	○	○	○	○	○		
19	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			
20	ヒヨドリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	モズ	○													
22	ウグイス					○									
23	オオヨシキリ	○		○		○	○		○	○	○	○			
24	セッカ		○	○											
25	シジュウカラ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	メジロ										○	○			
27	カワラヒワ	○	○		○		○	○			○	○		●	
28	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	コムクドリ			○		○									
30	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	オナガ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



※網掛けは平成24年度に繁殖が確認された種

※23年度は、幼鳥の確認のみは●とした

※『繁殖の確認』とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖したと判断したもの

3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

9月に確認された。

アカガシラサギ（コウノトリ目サギ科）

体長は42～45cm 水田、河川、湿地などに生息している。
夏羽では、頭部から胸にかけて赤褐色になる。冬羽では、赤みがなくなる。
翼や尾は白い。



写真：中尾文枝氏提供 平成24年3月石垣島にて撮影

確認モニターのコメント

アカガシラサギがいたのは9月22日六木水の森公園（水車広場）北側の堀川が広がっている所です。

9月も下旬になると渡りの早いコガモ等の姿も多く見られる場所だがこの日はカルガモが4羽いただけでした。

この頃何回か私の調査日に同行してくれる友人が一足先に行き手前側の護岸をのぞきこんだ時に飛び立ちました。首の茶色い縦斑、背中の茶色白い翼、冬羽のアカガシラサギでした。対岸にとまってくればと見送ったが八潮方面に飛び去ってしまい、ほんの一瞬の出来事でした。

平成21年9月にも神明水の森公園（風車広場）の池で調査日以外ですが、3回見えています。

足立区野鳥モニター 嵯峨 信子

3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

3月に確認された。

コイカル（スズメ目アトリ科）

体長は19cm くちばしは太くて黄色いのが特徴。イカルに似ているが、体はイカルの方が太くて丸い。



写真：中尾文枝氏提供 平成24年3月手賀沼湖畔にて撮影

確認モニターのコメント

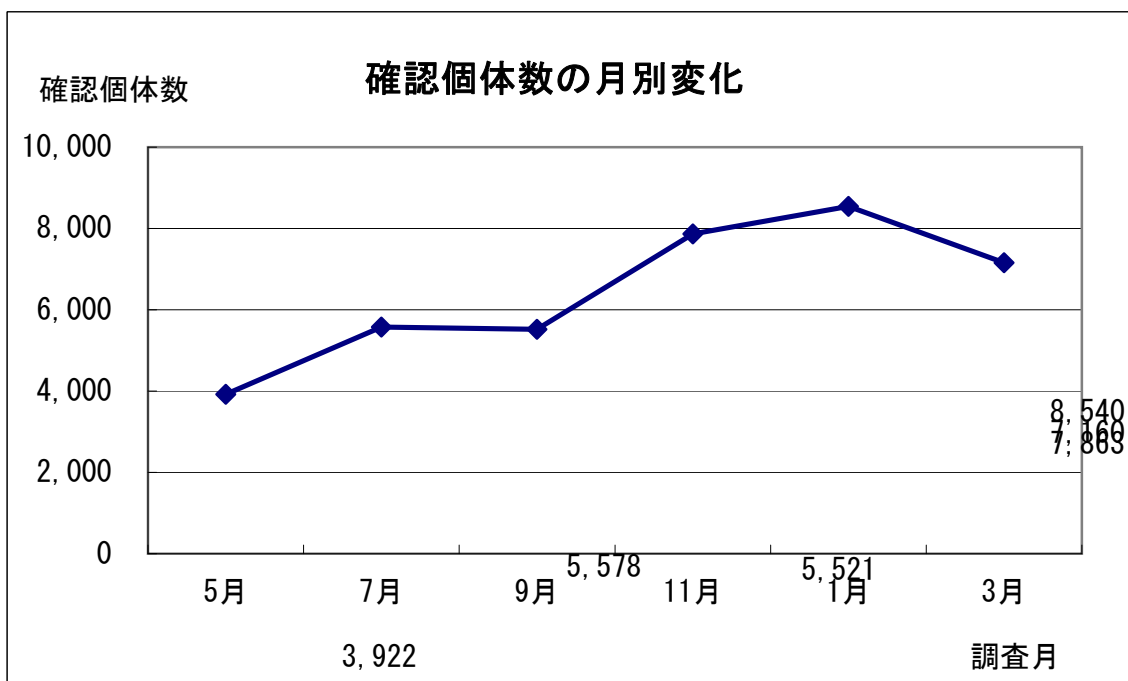
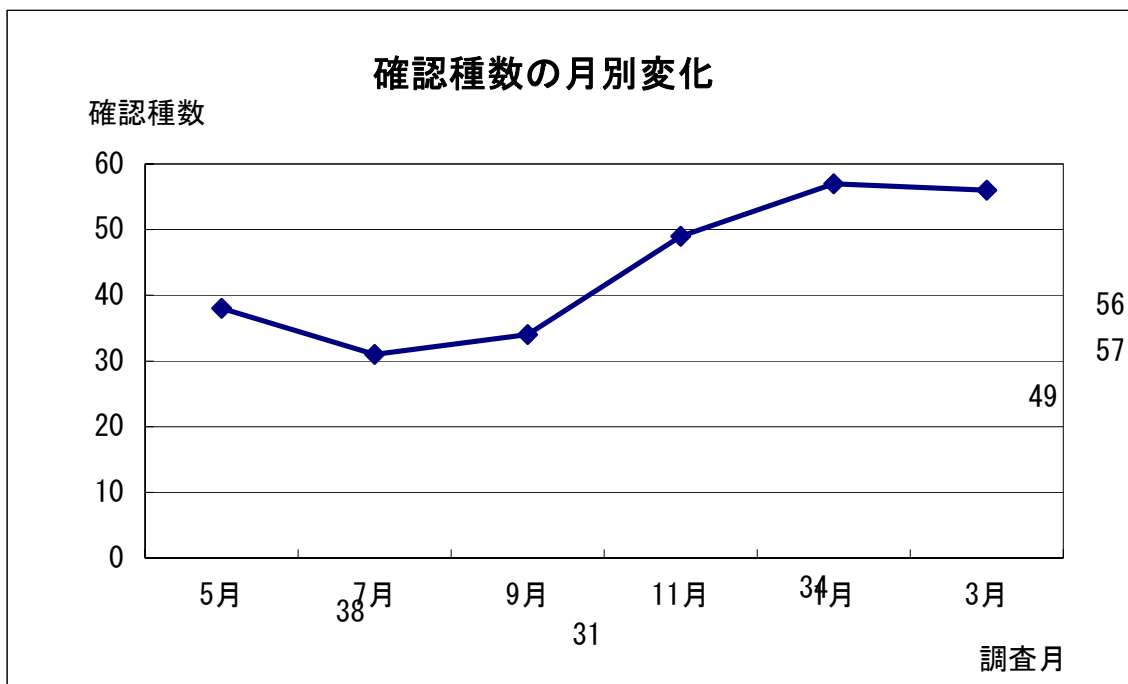
3月6日朝7時前、佐野公園、いつもより鳥の数が少ないかなと思って
いると、東南入口方面、明るい南の方へ動く2羽の姿を見かけた。

一瞬判別できず、暫く特徴を確認。嘴は文鳥のような感じ、シメかと思
ったが羽の紋様が違う。腹が少し黄色っぽいとか、背中が全体的に灰
色っぽい事などをチェック。急いで、ポケット図鑑を開いて見ると、イ
カル・コイカルがそっくり。少し迷ったが、羽の先端の白い三角形が印象
的だったのでコイカルと判断、報告した。

当然、他の人々が何度も報告されていると思っていたら、区内での報告
は初めてということではびっくり。写真を撮れなかったことが悔やまれる。

足立区野鳥モニター 大和田 司

4 調査月別確認種数と確認個体数



5 確認個体数ベスト10

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

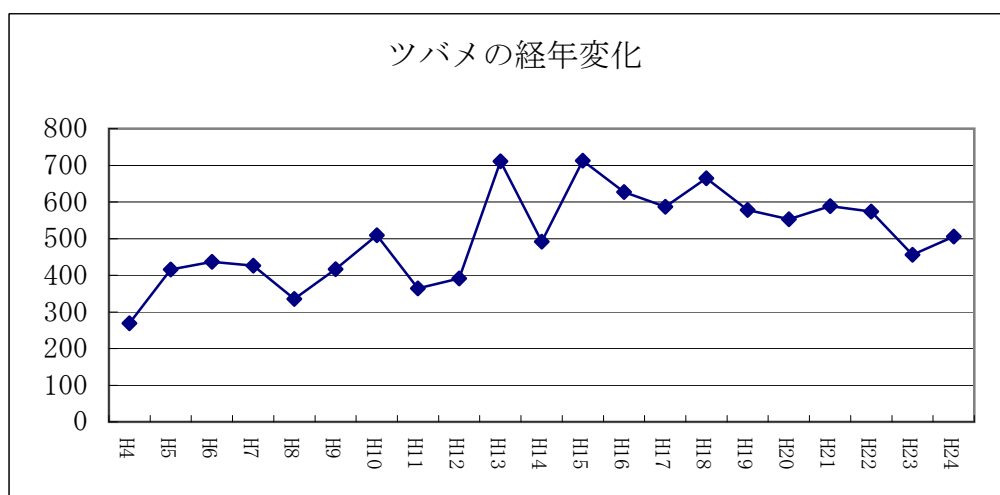
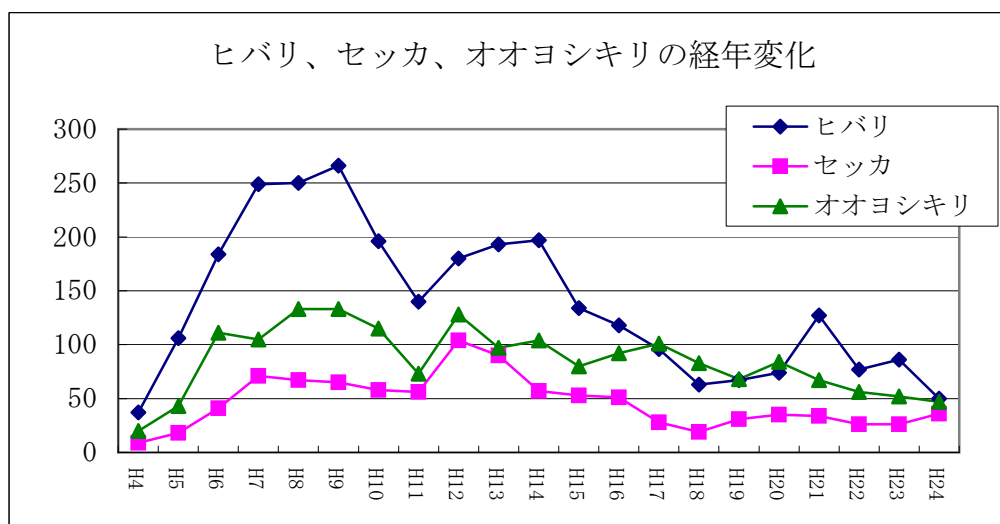
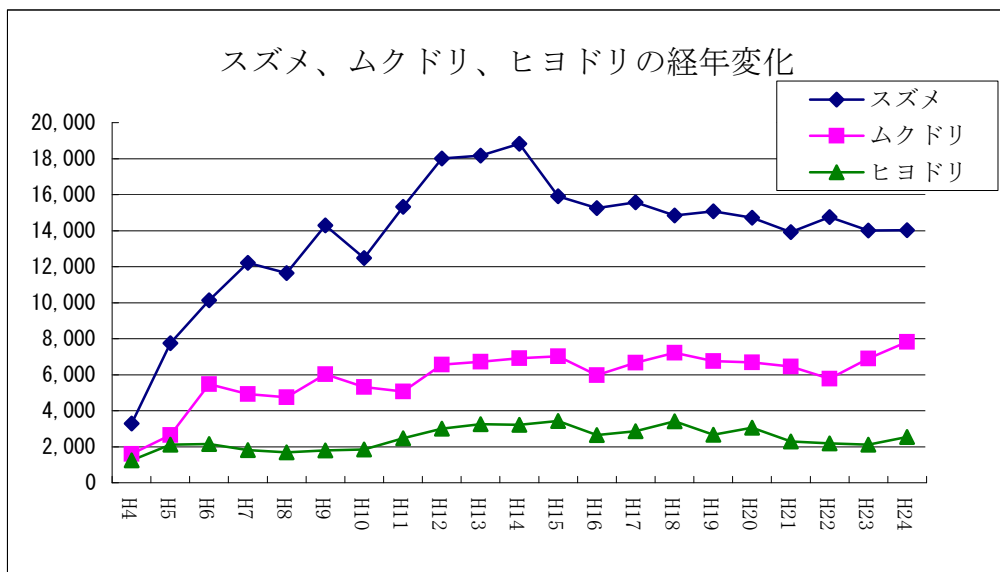
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月
1	スズメ 1,613	スズメ 2,159	スズメ 2,709	スズメ 2,725	スズメ 2,487	スズメ 2,335
2	ムクドリ 908	ムクドリ 1,970	ムクドリ 1,558	ムクドリ 1,160	ムクドリ 1,182	ムクドリ 1,045
3	ツバメ 221	ツバメ 270	ハシブトガラス 210	ヒヨドリ 910	ヒヨドリ 915	ヒヨドリ 510
4	ハシブトガラス 175	オナガ 168	オナガ 188	ユリカモメ 435	ツグミ 522	ユリカモメ 494
5	ハシボソガラス 142	ハシボソガラス 150	ヒヨドリ 131	カワウ 365	ユリカモメ 484	ヒドリガモ 274
6	オナガ 139	ハシブトガラス 149	カルガモ 131	ハシブトガラス 248	カワウ 357	ツグミ 272
7	カルガモ 113	カルガモ 126	ハシボソガラス 122	ヒドリガモ 197	ヒドリガモ 334	ハシブトガラス 211
8	キジバト 110	キジバト 95	シジュウカラ 79	オナガ 179	メジロ 259	ハシボソガラス 184
9	カワラヒワ 109	シジュウカラ 83	キジバト 78	カワラヒワ 170	ハシブトガラス 230	カワウ 181
10	カワウ 77	ヒヨドリ 82	ハクセキレイ 59	ハシボソガラス 169	カワラヒワ 190	キジバト 161

(2) H24の確認個体数ベスト10の経年変化①

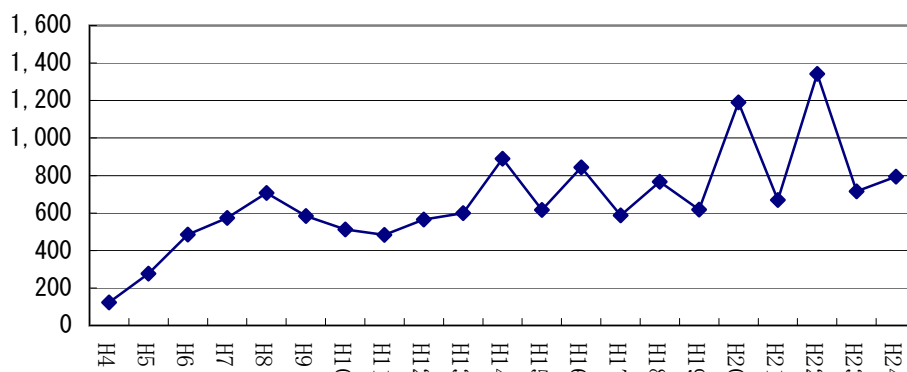
調査を開始した平成4年度以来、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。平成24年度の確認個体数ベスト10の経年変化を表にした。平成24年度もムクドリの確認個体数が多かった。平成24年度の確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、31,734羽で、全体の82%に相当する。

順位	種名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	スズメ	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028
2	ムクドリ	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823
3	ヒヨドリ	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597
4	ユリカモメ	4,167	2,899	3,793	1,448	1,446
5	ハシブトガラス	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223
6	カワウ	841	1,356	1,548	963	1,057
7	オナガ	591	739	757	763	990
8	ハシボソガラス	802	834	829	922	912
9	ツグミ	1,190	669	1,343	716	875
10	ヒドリガモ	1,661	1,578	1,925	739	805
	合計	35,165	32,455	33,957	30,332	31,756

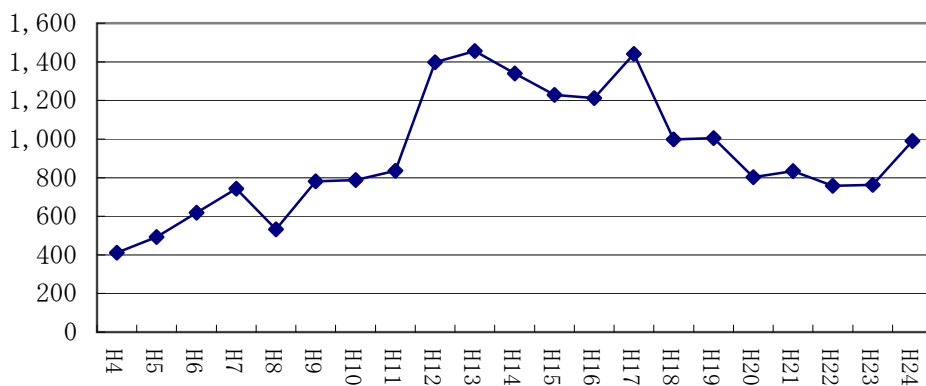
(2) H24の確認個体数ベスト10及びその他の種の経年変化②



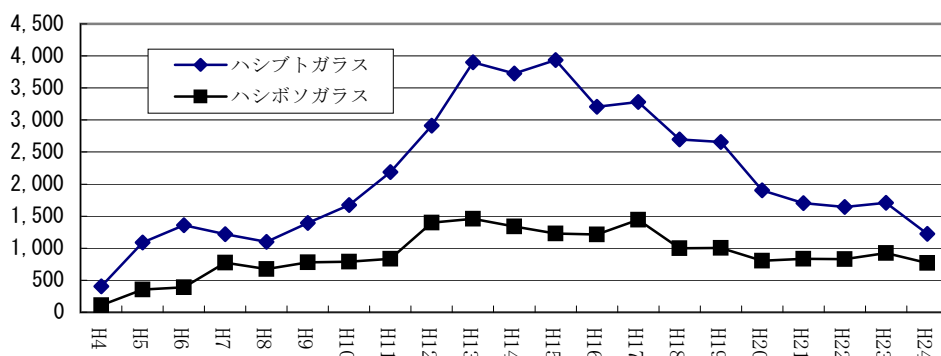
ツグミの経年変化

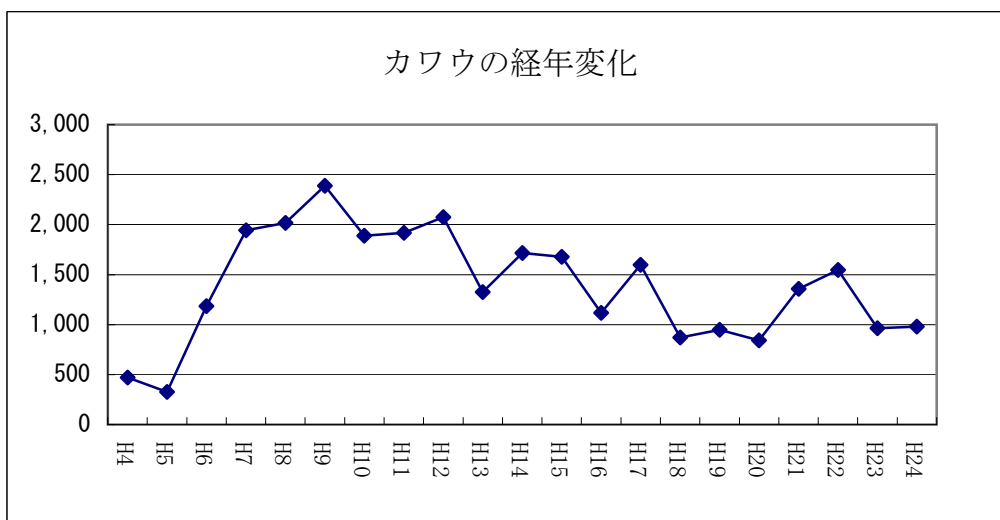
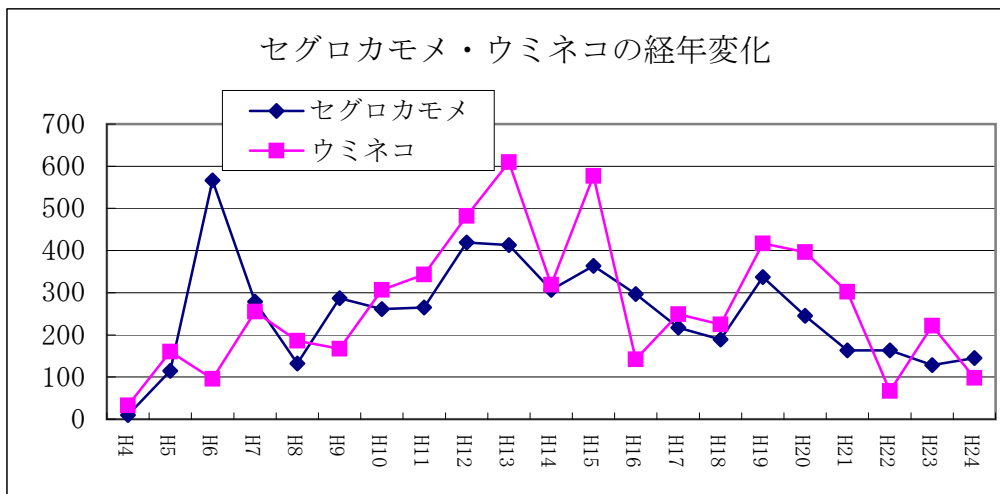
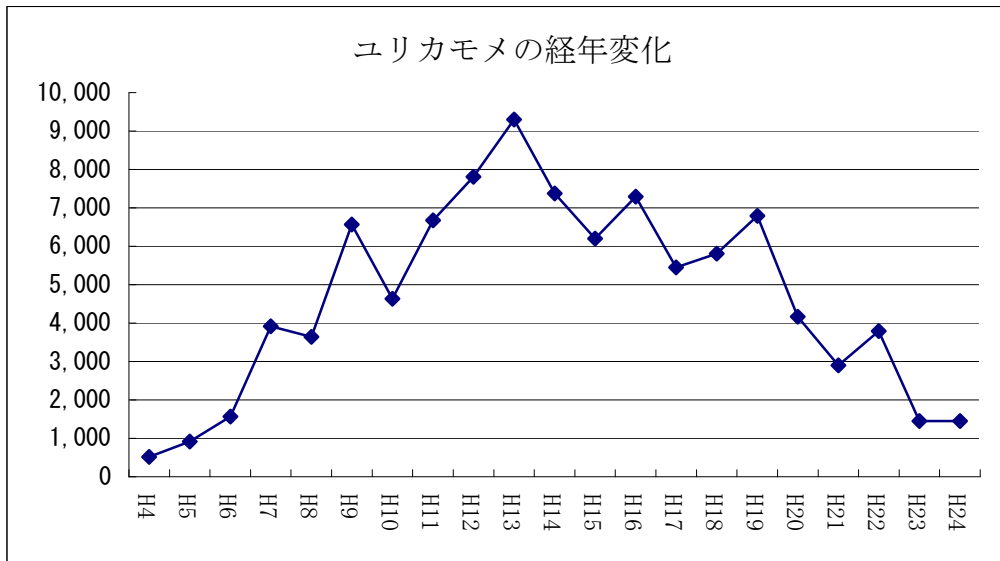


オナガの経年変化

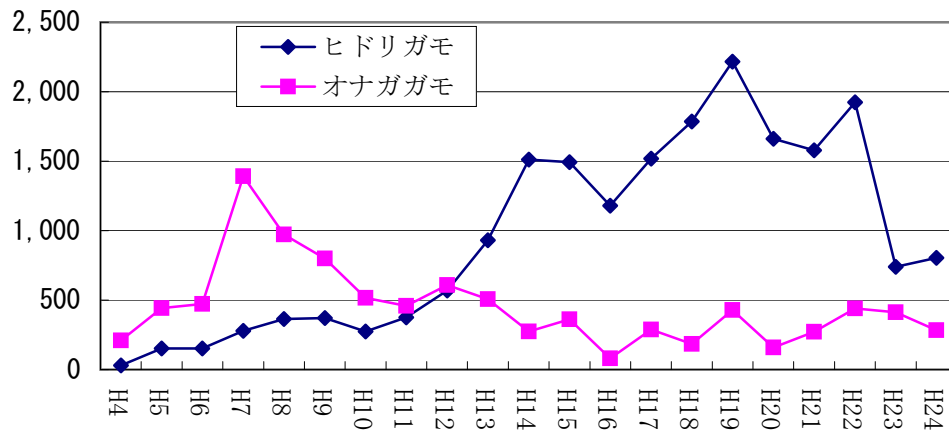


ハシトガラス、ハシボソガラスの経年変化

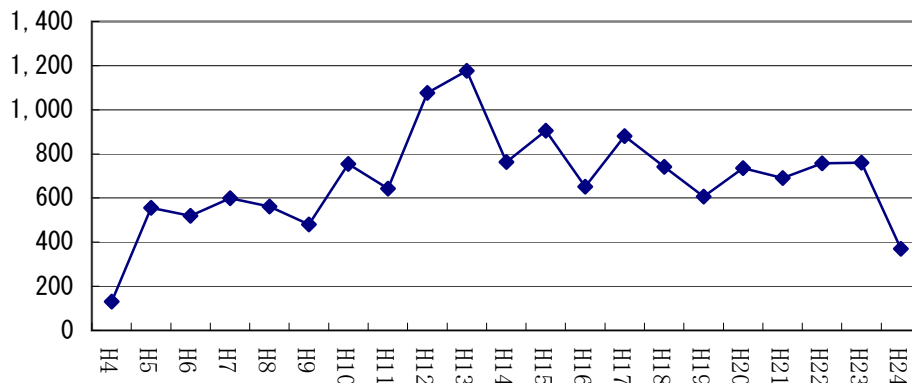




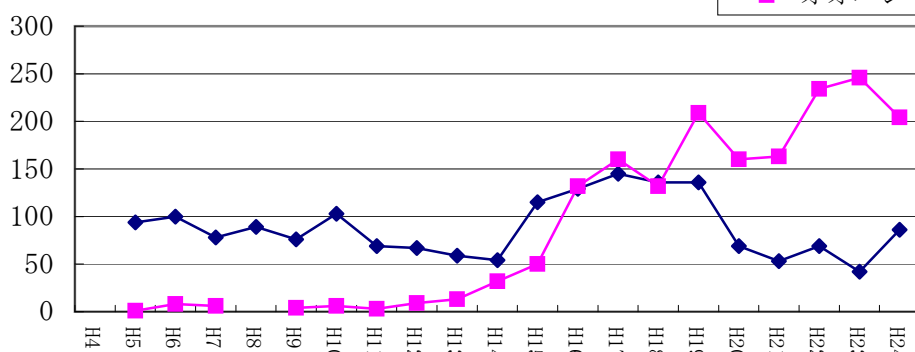
ヒドリガモ・オナガガモの経年変化



カルガモの経年変化



バン・オオバンの経年変化



Ⅲ 平成24年度野鳥モニターによる観察記録

平成24年5月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
1	ツバメ コアジサシ オオヨシキリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ツバメの巣。タクシー会社の駐車場の天井で毎年集団営巣が行われている。今年は古巣を加え40巣のうち、わずか3巣で抱卵が行われていた。昨年（5/7）に比べ大幅に減少しているのが気になる（5/1）。 ・夏鳥。今年もコアジサシ（初見4/16）・オオヨシキリがやってきた。 	Aブロック 直木 大助
4		<ul style="list-style-type: none"> ・西新井橋側の約300mが工事中で、調査できず（工期～5/31）。 ・雨が強く降ったり、やんだりの天気だった。 	Bブロック 渡辺 浩
5	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・雨上がりの翌日なので、さぞたくさん野鳥に会えると思っていましたが、あいにく風の強い朝で気温もぐんぐん上がり、上記のような結果でした。それでも人家の軒先を彩る春の花々や濃くなってきた木々の新芽が美しく、この季節ならではの楽しい観察を行うことができました。 ・公園でも電線でもスズメ達は、特にはしゃいでいるように見えました。 	Bブロック 宮田 妙子
5	コアジサシ ツグミ シロハラ	<ul style="list-style-type: none"> ・中川に、今年もコアジサシがやって来ました。毎年、姿を見る度にホッとします。 ・旅立ちの遅いツグミ、シロハラも見ることが出来ました。 	Eブロック 谷田貝 知子
6	スズメ カルガモ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・例年営巣の屋根裏にスズメが入ったが、ヒナの声は聞えなかった。 ・カルガモ1羽、長く鳴き続けている。そのかたわらで声に合わせて首を動かしていた一羽が、遠くで声に合わせて鳴いている一羽のところに飛んで行き、寄りそっていた。長く鳴き続けている1羽は、まだ鳴いている。 ・スズメが高速下の電柱で交尾中。7:45、東京拘置所脇の水路で鯉数匹、産卵中。 ・五反野駅のツバメの巣、4月中旬には飛んで来ていたが最近は見ない。駅員は関心なさそう。 ・駅近の和菓子屋主人によると、30年間来ていて今年もひなが生まれたとのことだが、姿と声は見えない。 	Dブロック 山田 友治

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
7	ヒヨドリ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・晴、風弱し。佐野いこいの森の方から六木一丁目上空を西へ向かって尾の長いハヤブサのような感じの鳥を見た。(AM7:00すぎ) ・先日まで賑やかだったヒヨドリの声が一度しか聞けなかった。移動してしまったのか? ・時々、スズメが尾を立てて、かなり大きな声で追いかけているように見えるのは何のための行動なのか?縄張り争い?何回か見かけた。 ・佐野二丁目「下の橋」から北へ。小公園に寄って、佐野公園を見てから葛西用水沿いを花畑川まで北上。桜木橋上で川面と堤防の川側を一望してから富士見橋へ、更に雪見橋まで西行き。両橋間ではスズメも見ず。次回一路南へコース変更。(六木公園へ)。雪見橋から南へ。辰沼稲荷社から辰沼二丁目公園、龍岩寺前を過ぎるが、道幅が狭く危険なので、東に折れて佐野第二公園へ。更に第三公園を通過して辰沼小学校の前まで行き、一路北へ戻り、東行、出発点までゆっくり戻る。 ・花畑川沿いと、辰沼と神明南との境の道路沿いは鳥が少ないようなので、次回は少し路線を変えてみる。 	Eブロック 大和田 司
7	ヒバリ	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷のグラウンドにも、連休が明け、鳥も戻って来たかと思っていたが、すこし少ない感じ! ・天気も良く、右岸ではヒバリがかなりさえざっていたが、左岸では確認できず! 	Bブロック 清水 猛
8		土手は花盛りで、散歩には絶好な時期ですが、鳥は種類も、数も少なく、どこに行っているのでしょうか?	Bブロック 清水 猛
9	オオヨシキリ	オオヨシキリの姿は見ることは出来ませんでした。鳴き声は数箇所から聞こえてきました。	Bブロック 森 美智子
11		<ul style="list-style-type: none"> ・神明水の森公園が今、工事中で立入り禁止でした。これから池が埋め立てられ樹木もだいぶ抜かれて広場になる予定らしく、寂しいかぎりです。 ・今迄この公園で見られた足立区としては珍しい鳥達にまた遭うことが出来るのか、とても心配です。 ・今回も種類、数ともにとっても少ない調査日でした。 	Eブロック 嵯峨 信子
12		<ul style="list-style-type: none"> ・前日から続く北西の風が強く野鳥観察には向かない天候でした。おまけに荒川は満潮で干潟の鳥は観察出来ませんでした。今年はツバメの初認日が遅く冬鳥同様、夏鳥も少なく且つ遅いのではないかと心配されていました。今のところオオルリ、キビタキなどの夏鳥は順調に渡っているようですが、遅かったツバメは自宅周辺でも数が少なく、今回もツバメの姿を見ることが出来ませんでした。また去年千住元町民家の軒先の巣も去年使われたままになって、親鳥の姿は周辺にありませんでした。河川敷のあし原も鳥影は少なく、いつも賑やかに鳴いているオオヨシキリを見つけることが出来ませんでした。こんな初めてです。 	Aブロック 綱藤 敏郎

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
12	カワラヒワ	<ul style="list-style-type: none"> ・温度が下がり北風の寒い日となった。 ・ビオトープ公園には鳥の姿全く無し。 ・土手の工事がやっと終わって、今年はじめて綾瀬川沿いを歩くことができた。カワラヒワは初の出会い。しばらく飛ばずに居てくれたので、じっくり観察できた。 ・犬の散歩の人に聞くと、土手の工事と区画整理のせいか鳥の姿はめっきり減って、ツバメもあまり見ないとのこと。環境の激変はまだ続くので先行きを心配する。 	Dブロック 羽賀 節子
12	ツバメ シジュウカラ オオヨシキリ スズメ キジバト ムクドリ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・この季節にはめずらしい冬型の気圧配置になり、北西のやや強い風が吹き、新緑の草、木の葉が大きくゆれて、野鳥をみつけるのが大変である。 ・このような中、ツバメは草原や林の中を低空でスイスイ飛びまわっている。シジュウカラも小枝でさえずるが、姿を見るのはむずかしい。オオヨシキリもアシの中で鳴いているが出てこない。スズメ、キジバト、ムクドリは、皆バラバラで地上のエサを取っている。 ・今回はどういうわけかまとまった個体数が得られない。 ・大池にカルガモがヒナをつれてくる姿が3組見られた。 ・私の観察で、今年は4月1日にツバメが大池に飛来、その後公園近くの民家に今年も営巣、ムクドリも倉庫などのすき間に営巣しているとみられる。オオヨシキリの鳴声が大池で聞こえたのは4月22日。 	Cブロック 羽賀 清行
12	スズメ ムクドリ キジバト	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヨドリを見ない公園ははじめてでした。 ・スズメ、ムクドリは幼鳥が混じってました。 ・右足指の無いキジバトが餌を探していた。どうしたのでしょうか。 	Eブロック 半澤 ヤイ
13	ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・川岸の木々やあし原が刈り込まれて短くなってしまったので、いつもより川岸に鳥が少なく感じられました。 ・ツバメがグラウンドを行ったり来たり。かなり低空飛行だ。ほとんど地面すれすれを飛んでいました。 	Aブロック 長谷川 淳
13	カルガモ カラス	<ul style="list-style-type: none"> ・4月にカルガモ親子が毛長川から親水公園に歩いてきたが、5月には6羽いた子供が4羽になっていた。カラスの巣のある木の下の流れのため、これにねらわれたのだろうか。（水の中で死んでいる親鳥を見ていたら、集まってきた清掃中のシルバーさんの話です。） 	Cブロック 菱田 恭子

5月

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
13	スズメ オナガ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてなので正確に調査出来るか不安です。 ・スズメの数が少ないのではと思います。 ・公園のすぐ上に首都高速が走っていて車の音がやたら騒がしい。オナガが散見できた。ハシボソガラスが「つがい」でいた。 ・シジュウカラがいたようだが、判断できなかった。 	Eブロック 伊藤 誠一郎
13	スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・雲一つないすっきり五月晴れの朝です。 ・葉桜の中でのスズメ達にぎやかです。 ・ペアで芝生をついばんでいるムクドリ達、目を楽しませてくれましたが、鳥の種類、数共に少ない日でした。 	Dブロック 久保田 靖子
14	チュウシャクシギ	久しぶりにチュウシャクシギを見る事ができた。毎年この時期になると、よく見られる鳥です。	Bブロック 湯田 和彦
16	カラス サギSP カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・前日からの雨上がりの快晴。二丁目内歩行中、空中でのカラスの鳴声で見上げたところ、一羽のサギ(若干灰色に見えた)を二羽のカラスが挟むように平行に飛び、さかんにサギに攻撃をかけながら(鳴きながら)飛び去っていった。 ・元渚江公園内池のカルガモは、親鳥一羽にひな鳥九羽(生後10日~二週間位と思われる)が遊泳。池の縁沿いに接近すると、釣人(約20人程)の2~3人から釣えさなどの散給を受けて食していたが、釣人達も楽しそうにしている様子であり、「えさやり」の注意は行わず、静観した。(トラブルを防ぐ意味もあって) 	Dブロック 柳橋 元八
17		<ul style="list-style-type: none"> ・堀切橋近くの土手に上ると毎年聞えてきたオオヨシキリのさえずりが聞えない。ヨシ原に近づいても姿も見えない。調査依頼初めての年になった。 ・足立区立千寿桜堤中学校にあるツバメの巣は今年も利用されていない。 	Aブロック 北島 喜彦
19	ムクドリ キジバト	<ul style="list-style-type: none"> ・五月晴れのさわやかな朝。 ・ムクドリが電線でいつもと違う鳴き方。一羽の巣だち間もない子供が風にあおられて不案定だった。 ・キジバトは民家の戸袋の上で巣をつくっていた。一羽はすわっていたが、もう一羽は忙しく出入りしていた。 	Eブロック 市川 トシ
19	カラス	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖期としては、11種の確認はまずまずの成果と思います。上空をカラスが針鉄ハンガー(白色)を運んで送電線鉄塔に持ち込んでいました。カラスの繁殖の時期としては遅いと思うのですが・・・。 ・調査ルートには、色とりどりの花がいっぱい庭木の緑と合せて気持ち良い調査でした。 	Dブロック 坪内 英昭

5月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
19	スズメ オナガ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・白旗塚史跡公園にて。管理している方のお話で4月の初旬に1羽のシラサギを見たとお話がありました。種類は分からないとのこと。 ・白旗塚史跡公園近くの住宅にて、スズメの巣がありました。子育てしているようでした。 ・寺院近くにて。オナガが近くの木に営巣をしているらしく、2羽のオナガが近づくハシボソガラスを威嚇しながら追い払っている光景を見かけました。 	Cブロック 中尾 文枝
19	ツバメ	ツバメはどこに巣があるのか見つかりません。	Eブロック 玉名 久美子
19	スズメ キジバト カラス	<ul style="list-style-type: none"> ・調査時間が遅かったせいか、個体数が最も少ない日だった。 ・スズメ、キジバト、カラスに巣材を運ぶ行動が見られた。ヒナの確認は次回かな・・・！ 	Dブロック 小巖 たづ子
20	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に野鳥が少なかった。 ・電柱の配電ボックス2箇所から、スズメのヒナの声が聞えた。 	Bブロック 内田 保
20	ムクドリ オナガ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・家の通気用の穴の中に、ムクドリが出たり入ったり、ムクドリ営巣？ ・公園の大きな柳の木の中にオナガが巣作りをしていました。 ・オナガもスズメも、犬の抜け毛のような毛玉を巣材にするのでしょうか？運んでいました。 	Eブロック 安藤 京子
22		<ul style="list-style-type: none"> ・前日の予報は雨でした。早朝降っていないのを確認、観察に出発。 ・うす暗く鳥の姿は少ない。 ・観察ポイントの事業所内には今回も入れず、残念です。 ・霧雨が降り出しましたが、無事終了です。 	Aブロック 内田 千恵子
24		<ul style="list-style-type: none"> ・今回見られたのは11種。ここ数年で最少では。カルガモ、バン、コサギなどが見られないのは不思議である。5月にはオオヨシキリが見られることが多かった。鳥の数が減っている。調査地域の畑や空地が減り、住宅がふえていること、毛長川に新しく人道橋ができたことなどで、この地域の環境が鳥にやさしくないようである。 	Cブロック 藤波 誠治
25	スズメ オオヨシキリ	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメの幼鳥2羽が、それぞれの親から羽をふるわせてエサを貰っていた。 ・今年は気温が低くオオヨシキリの声は小さい。曇りのためか口の中の色は濃いエンジ色に見えて一層美しかった。 	Aブロック 井灘 志げ子

5月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
-----	----	------	----------

26	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・帝京科学大学のシラカバの木、新芽は出たが新芽のまま茶色くなってしまっている。枯れてしまうのだろうか。毎年楽しみにしていた木だったのに残念。 ・今年は子雀をまだ見ていないと気になっていたが、今日見れました。体をふるわせながら親から餌を貰っていました。可愛いかったです。 	Aブロック 前田 三重子
27	キジバト メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・キジバトの夫婦が、路上で、エサをさがしていました。 ・メジロを、先月より少ないですが、見かけました。 	Dブロック 矢野 毅
28	スズメ ムクドリ キジバト ハシボソガラス ハシブトガラス オオヨシキリ オナガ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・留鳥+夏鳥 街中も河川敷も繁殖期らしい賑わいだった。目立ったところでは、物指し鳥のスズメ、ムクドリ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス達、加えてオオヨシキリ、オナガが叫んでいた。 ・ツバメ 調査域に古巣が5ヶ所、どの巣も空家だった。 	Aブロック 村澤 嘉信
30	ムクドリ スズメ ワカケホンセイインコ カモ	<ul style="list-style-type: none"> ・天候は晴、五月晴れの気持ち良い天気。観測時間が早朝でなく日が昇ってしまい、活動状況を見極めにくい。 ・土手上両側の草刈がされていて、その中で採餌のムクドリ、スズメが多く認められたが、きちんとした数の確認が難しかった。 ・スズメは、群の中には幼鳥が多く認められた。民家の軒下に2つ営巣を認めた。ひなの声らしきものも聞こえた。 ・ゴルフ練習場の鉄製柱の横棧左右の端にムクドリの多くの営巣が認められ、採餌の後、巣に戻る姿が目撃された。数はかぞえ切れない。営巣は50位あると思われる。同じ場所には、以前からワカケホンセイインコがいつも見かけられる。 ・ネット柱上でムクドリ・スズメの交尾が認められた。 ・対岸にカモ2羽、種不明。(葛飾区) 	Eブロック 岩崎 孝和
31	コアジサシ	<ul style="list-style-type: none"> ・中川の水道橋でコアジサシの求愛・給餌を観察。何処で営巣するのだろうか。 ・中川公園では雑草が伸びており、ムクドリやスズメなどが確認できず、樹上や飛翔中のものしかカウントできなかった。(掲示板によれば、来週中に刈り取るとのこと。) 	Eブロック 根本 一郎

平成24年7月

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
1	ムクドリ スズメ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの公園もムクドリが多く、元気である。 ・関原三丁目電柱のトランスにスズメが営巣、巣材の枯れ草など運んでいる。 ・季節がらスズメの幼鳥が多く見られ、動作が可愛らしく心なごむ。 ・公園のヤマモモの実が熟れて、ヒヨドリやスズメが啄んでいた。 <p>(梅雨が明けると暑さで小鳥が少なくなると思い、7月の初日に調査しました。紫陽花もまだきれいです。関原地区ではシジュウカラに会えませんが、どうしてでしょう。)</p>	Bブロック 宮田 妙子
3	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・シジュウカラ、キジバトを見かけなかった。車の多い通りより、一本住宅の中に入った通りの方が姿を見つけやすい。 ・今日は、ヒヨドリがアンテナ等の高い所で鳴いているのが目立った(3ヶ所)。 ・散歩、ウォーキング、通勤の人が前回より多く、親水公園の通りは鳥が少なめの感じ。 ・雀の子供が大分大きくなって親と一緒に動いていた。 	Eブロック 大和田 司
3	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈をしたばかりの河川敷でムクドリが100羽以上群れていた。 	Aブロック 直木 大助
8	オナガ キジバト	<ul style="list-style-type: none"> ・神社でオナガがかん高く鳴いていました。 ・キジバトの夫婦が仲よくエサをついばんでいた。 <p>オシドリ夫婦ならぬキジバト夫婦という言葉もあって良いのでは？</p>	Dブロック 矢野 毅
9	ムクドリ イワツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャーギャーの警戒声でにぎやかな梅島西公園のムクドリ達の数をかぞえるのがうれしい朝でした。 ・ベルモント公園の池の上を飛びかうイワツバメ達のさわやかな光景。巣を探さねば、です。 	Dブロック 久保田 靖子
10	ツバメ ムクドリ ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・調査開始したとたん、ツバメが歓迎の飛行を見せてくれた。ただし、鳥の出現はさっぱり。スズメの群れもない。 ・ムクドリは舎人神社でまとまっていた。 ・帰り、ハシブトガラスがガーガーとうるさく鳴いた。本当にハシブト？と思ったら、カーカーと鳴き始めた。 ・バン、コサギ、カワラ、アオサギなども姿を見せず。(晴れ。毛長川の水多し。) 	Cブロック 藤波 誠治
10	スズメ ムクドリ オナガ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメもムクドリも幼鳥が目立った。 ・ムクドリが幼鳥2羽を連れ餌を与えていた。 ・オナガ1羽がパンをくわえたムクドリ、スズメを追い回していた。 ・オナガが桜の木の下で蟬を食べていた。 ・カルガモは成鳥近いのに親に見守られていた。 	Dブロック 半澤 ヤイ

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
11	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨明けはしてないが、このところとても暑いです。今日も暑くなりそうです。 ・スズメも暑さで口を開けっ放しでした。 	Aブロック 長谷川 淳
11	コアジサシ	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿浜橋付近にコアジサシ15羽が鳴きながら飛び交っていました。残土の上にも数羽いました。 	Bブロック 森 美智子
12	バン	<ul style="list-style-type: none"> ・バンの親子連れを見た。ため池のガマが生い茂っている一角に巣も確認できた。驚かすと育児放棄をする場合があると聞いたので、そっと静かに観察した。卵は8個あったそうだ。幼鳥は4羽確認。最初は4羽が親の後について回っていたが、そのうち2羽は親から離れて行動するようになったとのこと。今日も2羽は隠れているのか確認できなかった。幼鳥は親鳥くらいの大きさだった。 	Dブロック 羽賀 節子
14	ハシボソガラス スズメ アオサギ	<ul style="list-style-type: none"> ・夜中の大雨が上がって、モニターする事ができませんでした。 ・3羽のハシボソガラス、その中の2羽は口の中が真赤な幼鳥でした。 ・やっと一人立ちしたらしいスズメの若鳥もたくさん観察できました。 ・アオサギは、中川方面に向って空を飛んでいるのをみつけました。 	Eブロック 安藤 京子
14	カルガモ ハシボソガラス ハシブトガラス オオヨシキリ コアジサシ	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜に激しい雨が降ったものの、今朝は雨があがりませんでした。水溜りがあちらこちらに出来ている調査日です。 ・公園大池にカルガモが少ないと見ていましたら、反対側のお花見広場の草原の水溜りに28羽のカルガモが餌を求めています。 ・ハシボソガラスが地上で餌を取る姿が多く見られましたが、ハシブトガラスは今朝は少なかったです。 ・オオヨシキリの鳴声も一ヶ所に、ヨシ、ガマの間を抜け、鳴かずに飛びかっています。 ・最近コアジサシが大池に飛来したのを見ました。また、イワツバメも夕方になると大池の上空を10~20羽飛来していますが、今朝は見られません。 	Cブロック 羽賀 清行
15	ダイサギ カルガモ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・強風が吹き、ほとんど鳥が飛んでいなかった。いつも見られるカワウやイソシギは観察できなかった。川岸は干潮で干潟状になっていたが、ダイサギとカルガモしかいなかった。西新井橋と扇大橋の間位の川の中の杭の上には、よく鳥が止まっている。しかし、男性が川に入ってバス釣りをしていたため、一羽もいなかった。5月27日の荒川一斉調査のときにもいたので、野鳥に影響がないか心配である。 ・西新井橋横のグラウンドの西側でツバメが5羽、芝生すれすれの低空飛行をして、同じ場所を何度も巡回していた。初めは樹木で風がさえぎられているところにいる虫を捕っているのかと思ったが、私が観察した限りではそこには虫はいなかった。 	Bブロック 渡辺 浩

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
15		南風が強かったためか、鳥が少なかった。	Bブロック 内田 保
15	ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・風はあるけど蒸し暑い朝である。 東京拘置所脇の水路に近づいたら、水をバタバタ音を立てておねだり芸をするでかいアカミミガメが一匹いた。 水路脇の草むらでキリギリスの声。自然が復活してきたかな？ ・ハシブトガラスの羽がボロボロ。 ・近所の人の話では、水路の滝の辺りにカルガモの幼鳥が5日程前まで5羽いたとのこと。 	Dブロック 山田 友治
16	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメ17羽、公園については餌を撒いた様でドバトも10羽ほど集まっていた。 ・川端第一公園は整備中につき1/3程は裸地となっていた。 ・ツバメが見当たらない。 	Eブロック 伊藤誠一郎
17	カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥の鳴き声が多いので、いつもより早く出かけた。 ・カルガモの親は、幼鳥が水草の中に入っていくと、警戒した声で鳴き、注意をうながしていた。 ・今月初め頃、死んだスズメが我が家の私道に落ちていた。死因はわからないが、庭隅に埋めた。 	Cブロック 菱田 恭子
18	ヒバリ アオサギ ダイサギ	河川敷に出ても鳥の気配も少なく、ヨシ原にもなにもいない。 すくわれたのは、ヒバリの鳴き声とアオサギ2羽、ダイサギ1羽だった。	Aブロック 北島 喜彦
20	ムクドリ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・連日の猛暑から一転しての涼しい日を迎え、人間達は戸惑っているが、鳥達はどう感じているのだろうか？ ・地域全体として「ムクドリ」が多数見られた。特に元渚江公園内で多数見られ、記録した数より更に実数は多くいた様に感じている。(同じ鳥が、公園内を移動しているので、重複してカウントしてしまうことを考えて困惑した。) ・5月調査時のカルガモの「ひな」達は、親鳥と見分けがつかない成長振りで、池の中を遊泳したり池の縁に上って昼寝したりと、ゆったりと過ごしている様に思われた。 	Dブロック 柳橋 元八
20	カルガモ コチドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・カルガモの1羽の親が、6羽の子供を連れて、波の間を荒川の対岸へ泳いで行きました。結構たくましいものです。 ・河川敷に新たに残土の丘が出来たせいか、コチドリが計7羽も確認できました。 	Bブロック 清水 猛
21	ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、時々小雨も降ったが涼しい日で汗もかかずにすんだ。 ・ハシボソガラスが民家の庭先に止めてあったバイクのバックミラーを攻撃していた。つついては遠ざかり、またつつきに来て、しばらくくり返していた。 	Eブロック 嵯峨 信子

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
22	スズメ ツバメ イソシギ	本日の調査は10種、86羽でしたが、内61羽がスズメです。夏なのにツバメは1羽、目の前をかすめて飛んだだけ。 綾瀬川では、定番のイソシギが護岸で採餌中でした。	Eブロック 市川 トシ
22	ハシボソガラス オナガ ツバメ	・柳田公園内で、近くに巣があるようで、ハシボソガラスをオナガが追い払っていた。 ・住宅車庫内の照明器具の上にツバメの巣があり、かなり大きくなった5羽のヒナが顔を出して親の帰るのをじっと待っている。だいぶ窮屈そう。	Eブロック 谷田貝 知子
22	オナガ ムクドリ ツバメ スズメ	・7月の調査日としては、いつにない涼しさで汗もかかず、気持ちよく感じた日でした。 ・オナガは、尾の短い幼鳥が多い。 ・日本皮革の構内の芝生でムクドリが食事中、ほとんどが幼鳥に見えたが・・・。 ・千住大橋駅開発地域の原っぱでスズメの群れを見る。 ・同駅構内のツバメの巣3ヶの内の一つに親鳥が座っていたが、一羽が飛んで来て交代したので多分抱卵中と思う。しばらく観察してみよう。 ・抱卵していると思われるツバメの巣を31日に見に行くと、4羽のヒナがかえっていた。親鳥が来ると身をのり出し、巣から落ちてしまうのではないかとハラハラしてしまう。 ・先日の調査の後、駅構内にもう一つツバメの巣があることを家族から聞き見に行く。耐震工事の後、営巣しないと思っていたので、見のがしてしまっていた。もう巣立ちに近く、親鳥は巣の近くのポールに止まり巣を見張り、巣には3羽のヒナがいた。駅構内に4ヶ所の巣があり、今年は2ヶ所で営巣していたことになる。	Aブロック 前田 三重子
24		曇り空です。カラスの姿もなく静かな観察日でした。	Aブロック 内田 千恵子
24	ムクドリ	河川敷のグラウンドは、早朝のためまだ使われておらず、ムクドリが群れていました。最初は1、2、3、・・・と数えていたのですが、途中から・・・50、60、70・・・計350羽、数えました。改めて河川敷の広さを実感しました。	Bブロック 清水 猛
28	スズメ ムクドリ	・連日の猛暑に、早朝から調査をしたが汗まみれ、一旦帰宅して下着まで取替えて中川公園へ。 ・全般的に野鳥の数は少なかったが、スズメ、ムクドリなどの幼鳥が目立った。 ・近くの都営住宅の4階にスズメの巣があり、今年は多くの雛が育ち、近所を飛び廻っている。わが家にも連日何羽かが飛来しており、時折電線に止まっているのを数えると20羽余りになっている。	Eブロック 根本 一郎

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
28		猛暑日に合わせて調査を実施。 予想どおり種数、個体数とも少ないが、7種41個体の確認は、この時期としてはまずまずの成果と思う。	Dブロック 坪内 英昭
28	オナガ ヒヨドリ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・白旗塚史跡公園に、オナガの巣がありました。まだ子育て中のようで、しきりに親が巣に戻ってきていました。 ・寺院近くの住宅地の中で、1羽だけ綺麗な声で鳴いている姿を見かけました。 ・この時期は、ヒヨドリよりもムクドリの数が圧倒的に多かったと思います。 	Cブロック 中尾 文枝
28	ウミネコ イソシギ	暑いせいか鳥の数は少なかったが、ウミネコやイソシギなど久しぶりに観察できた。	Cブロック 永田 久男
29	ムクドリ ハシブトガラス スズメ コゲラ	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川河川敷にはたくさんのトウネズミモチの木があり、今緑色の未熟な実がついています。ムクドリの群25羽超がトウネズミモチの木の中に入り出てきません。今回は干潟が出ていて波消しのために置かれた蛇籠の上でムクドリ12羽の群が餌取りをしていたので、てっきりそちらに移動して合流するかと思っていました。あまりにも出てこないで観察したらしきりに何か食べています。葉や枝に着いた虫など食べているのかと思ったら青く未熟な実を食べていました。私にとっては新発見です。鳥は熟した実から順番に食べていくと信じていたので、未熟な実を食べる姿には全く驚きました。幼鳥が主でしたが成鳥も入っていました。 ・高圧鉄塔の中程に口の中が赤いハシブトガラスの幼鳥が2羽止まっていて、のどをふくらませた親がせつせと食事を運んでいました。 ・千住桜木2丁目の公園でスズメにパンをあげているおじさんが2人いて、スズメが私にも近寄って来ました。おじさんとは眼鏡をかけている事くらいしか共通していないのですが、ここがスズメの甘いところですね。成鳥のスズメは大きなパンの固まりを啜って近くに飛んでいって、ゆっくり全部いただくわけですが、幼鳥はその場で食べるものだからパンの大部分を他の鳥にとられてしまいます。おじさんも人の子です。幼鳥中心に餌を投げていました。 ・コゲラが1羽いつもの「ギー」という声ではなく、「ツーツツ、ツツツツツ」と鋭い声で鳴きながら餌取りをしていました。なんか呼んでいるのでしょうか？1羽だけしか見つけられませんでした。 	Aブロック 綱藤 敏郎
29	ムクドリ	公園でエサをついばむムクドリの群れを多くみたが、幼鳥との区別はつかなかった。 本来この時期、幼鳥を多く見るが、今日は全く見られず種類も少なかった。	Dブロック 小巖 たづ子

観察日	種 名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
31	ツバメ スズメ	<p>昨年ツバメの営巣（計7つ）のあった工場の軒下に、今年は姿が見えず寂しい。</p> <p>観察エリア最南部の電線上で、2羽の親ツバメが1羽の幼鳥に給餌していたのを見かけたのがうれしかった。</p> <p>電柱上、トランスを支える柱にスズメの営巣が多い。</p>	Eブロック 岩崎 孝和
31		<p>連日続く暑さのためか、野鳥たちもあまり動き回らないのか、数も少ないように思いました。</p>	Bブロック 湯田 和彦

平成24年9月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
3	ムクドリ スズメ	23℃と久しぶりに涼しい朝、月が西方30度位の高さに残っている。 今回もドバトが上空を旋回、前回より増えたようで50羽以上。辰沼小学校前の叢に、また、ムクドリの大きな群れがいた。移動しようとしたところに新たな群が降りてきた。今回は雀も多く見られたが、総数は目に見えている倍以上は居そうな感じだった。草の陰に隠れて見えない。メヒシバが生え放題の所。八時前に雲の間から太陽が出たとたん頭がジリジリと焼けた。日差しは未だ強い。終了時は雲多く涼しかった。今回は雀が一羽で飛んでいる姿が目立った。子育て中で餌を運んでいたのかもしれない。	Eブロック 大和田 司
3	ムクドリ スズメ チョウゲンボウ	・ムクドリ（90羽）とスズメ（40羽）が群れていた。 ・チョウゲンボウが2羽、新田市街地の上空を通過していった。	Aブロック 直木 大助
8	スズメ セキセイインコ ムクドリ	千住桜木2丁目アパート敷地内の緑地の草刈がされて、イネ科の草の実がこぼれているのを目当てに、スズメの幼鳥が11羽集まっていました。その中に、青いセキセイインコが1羽いました。野外でセキセイインコを見るのは久しぶりです。青い色は、樹の葉の中に入るとあまり目立ちません。近くの公園で、5人のおじさんが相変わらずパンくずをまいていましたが、何故か近寄ってくる鳥はいませんでした。 繁殖が終わり、幼鳥以外は1羽での生活が始まったようです。 ムクドリは、飛び去る1羽だけしか見ませんでした。いい餌場を見つけたのかな？	Aブロック 綱藤 敏郎
8	スズメ ムクドリ ツバメ カルガモ カイツブリ	今朝は、少々遅いスタートになってしまった。 まだ、真夏の暑さが続いているが、スズメ、ムクドリはそろそろ集団になり始めている。一方、ヒヨドリ、ハクセキレイ、オオバンが見あたらない。 ツバメが8月中旬にすっかり見えなくなったが、今朝は3羽が大池上空を旋回、すぐに去ってしまった。 雨が少ないので、各池の水位が30～50cm下がっている。 普段見られない池の中の杭にカルガモが休んでいる。 カイツブリは大丈夫だろうか。3羽が見られた。 今朝の調査は、12種と一番少なかった。	Cブロック 羽賀 清行
8	スズメ ムクドリ カワラヒワ	秋の気配を感じられるさわやかな調査日和になりました。 スズメ、ムクドリは草を刈った原っぱにグループを作って忙しそうに動き回っていました。 カワラヒワの親子を見かけました。可愛らしい姿にしばらく見とれていました。	Bブロック 森 美智子

9月

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
9		拘置所脇の水路の草むらでコオロギの鳴音、秋を感じた。	Dブロック 山田 友治
11	スズメ ムクドリ カワセミ チョウゲンボウ	今年は、まだ真夏の日々が続き、数の多いのは相変わらずスズメ、ムクドリですが、カワセミ、チョウゲンボウが扇大橋そばで確認できました。	Bブロック 清水 猛
15	スズメ	スズメをはじめ、全般的に個体数が少なかった。	Bブロック 内田 保
15	カルガモ	夏の終わりの公園は、桜の枯葉が落ち始め、野鳥も少なく、やけに静かだった。暑いせい、カルガモは丘の草むらで休んでいた。	Eブロック 半澤 ヤイ
16	カラス	暑さのためか、鳥たちも元気がないように感じました。カラスがゴミを荒らしていたので、私たちもゴミの出し方に気をつけたいと思う。	Dブロック 矢野 毅
16	カラス	いつも鳥の少ない神社が、お祭りの準備で大わらわで鳥は全く見ず。先日、ゴミの日にかラスが15~6羽集まって道を占領しており、通行人は別の道から出勤していた。何とかならないものか!	Cブロック 菱田 恭子
16		久しぶりに雨がふり、鳥も一息?ついたのか、種類はまあまあですが、数はかなり確認できました。荒川は、今がハゼつりのシーズン、多くの釣り人が糸を垂れていました。	Bブロック 清水 猛
16	ハクセキレイ	・前日、ビオトープ公園にかワセミが来ました。情報はありましたが、目で見たのは2年数ヶ月ぶりのことです。カワセミを見ると、何か幸せな気分になります。不思議な力をもった鳥ですね。 ・午後、家の前の空地にかワセミがいました。見ていたら、人の気配に気がついたのか、パッと飛び立ちました。すると、思いがけずもう一羽が。近くの屋根に2羽止まっていた。一羽で見かけることが多いので、めずらしい光景でした。つがいでしょうか。	Dブロック 羽賀 節子
17	コサメビタキ	宮元公園で、目の前の木に止まっているコサメビタキを見つけました。私がモニターを始めて3年目で初めてでした。	Eブロック 安藤 京子
17	ムクドリ オナガ	今朝のベルmont公園では、常連のムクドリに代わってオナガの親子が乱舞の光景を見ることが出来ました。すがすがしい気分です。	Dブロック 久保田靖子

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
21	ムクドリ カルガモ	<p>厳しい暑さもようやく一息、曇り一時小雨の朝でした。ムクドリ60羽は、元渚江公園内の草原に一団となって餌を漁りながら動き回っていたので、正確な個体数は何回か試みたが確定できず、最大値を推測記入した。</p> <p>同公園内池のカルガモは、今季に生まれた他に数羽の入居があつて賑わっていた。</p> <p>元渚江公園は、内部改装工事のためオレンジ色の網囲いが張り巡らされ、野鳥の環境は悪影響ありと思われた。</p>	Dブロック 柳橋 元八
22	ヒバリ ウミネコ カルガモ	<p>雨あがりでも今にも降ってきそうな朝、風もあり街の中がシ～ンとしており、鳥の姿が少ない。スズメの声さえも聞こえてこない。</p> <p>それでも河川敷に出ると、ヒバリが飛び立ち、ウミネコが飛び、カルガモ4羽が泳いでいた。</p>	Aブロック 北島 喜彦
22	コムクドリ ムクドリ アカガシラサギ	<ul style="list-style-type: none"> ・今年コムクドリの渡りが遅く、やっと調査日に3羽、ムクドリと一緒に電線にいるのを見た。 ・9月25日昼頃、家の前の電線に200～250羽位並んでいたムクドリの群の中にコムクドリが40～50羽いて、圀川との間を行き来していた。 ・アカガシラサギを調査日に初めて確認した。(平成21年9月に調査日以外で確認している。) 	Eブロック 嵯峨 信子
23	ムクドリ スズメ	<p>早朝は雨が降っていたため、調査開始が2時間遅れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水上スキーをしているボートが行き来していたため、水鳥はほとんどいなかった。 ・芝刈りをしたばかりで餌を探しやすいためか、ムクドリが多かった。 ・草の実にスズメが群れていた。カウントできたのは123羽だが、草が茂っていたため実際はもっと多かったと思われる。 ・扇大橋～西新井橋の中間位にある野球場の芝生で採食していたムクドリの群れを野良猫が襲ったが逃げられた。荒川土手では、野良猫をよく見かけるので、野鳥への影響がかなりあると考えられる。 	Bブロック 渡辺 浩
24	カルガモ	<p>カルガモの親子が6羽、右岸の上流から下流へ向って一列に泳いで行きました。そのうち親ガモが左岸に渡ってしまいました。小ガモがガァガァ鳴いていると親ガモは右岸にもどり小ガモを連れて左岸に渡りました。ほほ笑ましい一場面でした。</p>	Bブロック 湯田 和彦
24		<p>9月23日(日)は肌寒い日で、しかも一日中雨が降り続いた。</p> <p>翌24日(月)の朝は快晴、しょうぶ沼公園を除いて他の公園では鳥が非常に少ないように感じた。</p> <p>全くといえるくらいの公園もあった。</p>	Eブロック 伊藤 誠一郎

9月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
25	スズメ ムクドリ モズ	何とも野鳥の少ない日でした。 ドバトは数ヶ所にかなり見られたが、キジバトは0、カワセミは今回も0、最近近くで全く見られなくなったスズメはたくさんの群れが見られた。 ムクドリは群れで多く見られたが、上空を移動中の群れも見られた。 最後にモズが出現、いよいよモズの高鳴きの季節である。	Cブロック 藤波 誠治
26	ムクドリ スズメ	お彼岸が過ぎ、涼しく秋らしくなったことで、26日に調査を実施した。 調査成果は8種56個体で、思ったより少なかった。 ムクドリ34羽が目立ち、スズメ6羽と少ないのが意外であった。	Dブロック 坪内 英昭
26	カラス	鳥の姿が少ない中、カラスの鳴き声・姿が目立つように感じました。	Dブロック 坪内 淑子
26	ノビタキ	・種類、個体数ともに少なかった。 ・久しぶりにノビタキを観察しました。過去の記録を調べたところ、平成6年10月10日中川公園で記録していました。	Eブロック 根本 一郎
26	スズメ チョウゲンボウ ハシブトガラス	・スズメが日ノ出緑地の葦原と虹の広場の草原に群れて採餌。 ・久しぶりに4羽のチョウゲンボウが見られた。5羽のハシブトガラスに追われながら、河川敷で舞っていた。 尚、今日の調査で15種観られました。	Aブロック 村澤 嘉信
26	スズメ	観察種が5種と、きわめてさびしい調査でした。 自宅を出てしばらくは鳥の声もなく、スーパー堤防の都営住宅に行くと、スズメの声が聞かれた。 しかし、スズメばかりで他の鳥の声がしない。 鳥の少ないまま千住大橋の開発地域に向う。 草原があり期待したが、スズメ以外は見つけられなかった。原っぱの草むらにすずなりのスズメ。どの草にもスズメがしがみついていた。鳴声と共に飛立つスズメ、他の鳥の群を見てみたい。	Aブロック 前田 三重子
27	サギ シギ	・つい一週間位前まで信じられないような残暑だったが、やっと少し涼しくなってきたので歩いてみる。 ・今日は、荒川の水量が少なく、川岸が大きくあらわになっていたため、そこをねらってサギやシギなどが来ていた。	Aブロック 長谷川 淳

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
27	スズメ	土手30メートルほどに、一面ピンク色に咲くツルボの花が強風にゆれている。 ノビタキはまだ来てなかった。強風のためかスズメは少ない。最後になってから、ようやくエノコログサの実を採食するスズメの群れにあう。近頃減少傾向にあるというが、ここはまだ健在。	Aブロック 井灘 志げ子
29	ムクドリ カルガモ シジュウカラ	・白旗塚史跡公園にて。隣接する空き地に30羽を超えるムクドリたちの群れがいました。 ・毛長川にカルガモが2羽飛来していて、釣り人の近くにいたのが印象的でした。 ・ようやくシジュウカラの様々な鳴き声と姿が見られるようになってきました。	Cブロック 中尾 文枝
29	オナガ イソシギ	暑かった夏が、ようやく過ぎようとしております。 ・オナガの家族がシュロの木に集って、シュロの中にある虫を食べているようだ。とにかくにぎやかだ。 ・以前から綾瀬川にイソシギが棲み付いている。今日も健在でした。	Eブロック 市川 トシ
29	ヒヨドリ	7羽ほどのヒヨドリの群れが、上空を通過して行きました。「わたり」の途中だと思います。	Eブロック 谷田貝 知子
30	オナガ	9月最終日、台風(17号)が接近しているとは思えないすがすがしい朝でした。 尾の短いオナガの幼鳥が、“クイックイッ”と親を呼んでいる姿が2ヶ所で見られた。	Dブロック 小巖 たづ子
30	イソシギ	台風の直前の静けさと少しづつ風が強くなりつつある中で、川辺にはイソシギ等の水鳥が散見された。公園は日曜の人出もあり、少なかった。	Cブロック 永田 久男
30		西新井栄公園は、新しい高層マンションに囲まれ、樹木や草花がすっかり根付いて、野鳥たちも居心地が良さそうです。観察地域の8割位はこの公園で見られる鳥です。朝おだやかだったこの日、午後から台風17号が近づいて来て、夜半東京を通過しました。	Bブロック 宮田 妙子

平成24年11月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
3	ヒヨドリ ジョウビタキ	今月はヒヨドリがとても元気なのが目立ちました。つがい鳴き合ったり、移動したり、食べ物も十分なこのさわやかな季節をおおいに楽しんでいるようでした。 島根の自宅近くでは数日前からジョウビタキが来ていますが、調査地域には見られませんでした。	Bブロック 宮田 妙子
5	ヒヨドリ	初め、東の空のみ明るく、西雲厚く、全天曇。寒い、12℃。 桜並木、半分は紅葉。柿の実も葉も色づき、晩秋の感。イイギリの実赤く、葉は黄味を帯びる。クロガネモチの赤い実、木全体に散らばる。ジョギング、ウォーキング、通勤の人多し。カツラの丸い葉もほぼ黄色。センダンの実も房をなして色づき、たわわに成る。ネムノキに枯れた実が下がり、細かい葉が落ち始めている。ピラカンサの実もまっ赤に木全体を覆う。花ズオウの実も焦げ茶で枝全体に下がる。ハナミズキの葉は大半が落ち、赤い実も半分程残り、すでに来春の花芽の準備が整っている。観察終了頃は、全天曇り、手が凍えた。小鳥たちは、木の中で鳴いてはいるが、姿を探すのに時間がかかり、いつもより手間がかかった。次回は、しっかり防寒対策をしていきたい。ヒヨドリは、アンテナや梢の天辺で1羽囀る姿が目立った。	Eブロック 大和田 司
9	シジュウカラ	シジュウカラは、最近自宅にもよく来ます。	Cブロック 菱田 恭子
9	ツグミ タヒバリ オオジュリン	暑かった夏や秋ですが、立冬も過ぎたせいか、さすがに河川敷の鳥たちも、ツグミ、タヒバリ、オオジュリンなど、冬らしくなっていました。	Bブロック 清水 猛
10	ジョウビタキ	立冬を過ぎた快晴、無風の穏やかな天気。紅葉にはまだ早い。 10種を確認。まずまずの調査成果。ジョウビタキの雄を確認したのが印象に残る。	Dブロック 坪内 英昭
10	カワラヒワ ジョウビタキ カモ	・公園の木の枝がかすかに動いたので、自転車を止めてじっと観察したら、カワラヒワが二羽飛び立った。 ・公園の中から近くの民家の木にジョウビタキが飛び移った。初確認。 ・近くを消防自動車サイレンを鳴らして通ったので、カモが7羽一斉に飛び立って上空を舞ったが、なんのカモかは確認できないうちに姿を消した。 (ビオトープ公園にて)	Dブロック 羽賀 節子

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
10	カワウ ヒヨドリ ハクセキレイ	風も静かで穏やかな調査日和になりました。 今回は、カワウ、ヒヨドリ、ハクセキレイなど、多く見られました。 初めて出会った鳥に感激しました。	Bブロック 森 美智子
10	コサギ ダイサギ アオサギ ユリカモメ ハシブトガラス チョウゲンボウ ツグミ	すばらしい青空です。西新井橋の上から雪を頂いた富士山がくっきり見えます。今日は干潟が出ていてコサギ、ダイサギ、アオサギが思い思いに餌取りをしていました。担当区域より上流ではユリカモメが30羽、水際に降りていました。橋の脇の鉄塔上でハシブトガラスが行ったり来たりしているので、見てみるとチョウゲンボウが止まっています。カラスがちょっかいを出しているのです。ツグミは今季初認です。1羽だけですが今年は早いかもしれません。	Aブロック 網藤 敏郎
10	ヒヨドリ アカハラ	・ヒヨドリがやけににぎやかで、調査コースのどこでも鳴き声がして、右往左往と飛びまわり、数を記入するのがうっとおしいほどです。 ・毎回、バーベキュー広場付近から調査のスタートをしますが、今回は、ここで9種類を確認、特にアカハラがいたのでビックリ。 ・大池には冬のカモ類が飛来していますが、今日の調査では、ちょっと少なく感じられました。	Cブロック 羽賀 清行
10	スズメ カワセミ ジョウビタキ ツグミ	・種類は17種でまあまあかなと思ったが、鳥数が少ない。特にスズメが減っている。 ・カワセミが久しぶりに見られた。風車公園の池はなくなったけど、堀川の綾瀬川寄りの水門のフェンスで休んでいた。 ・ジョウビタキは、2・3日前から家の近くや農園で見えているが、今日は姿がなかった。 ・ツグミは11月17日今季初認、夕方電線に4羽。(渡ってきたばかりか)	Eブロック 嵯峨 信子
11	シジュウカラ メジロ コゲラ	今回も、あまり変り映えのしない調査で終わるかな・・・と思い、最終ポイントの花畑公園をゆっくり歩いて行くと、まずはシジュウカラの声に引き寄せられ、桜の木を見上げると、今度はメジロがやって来て・・・“あっもう1羽”と思いきや、何と初めて見るヤツ！シマシマ(黒)でギイ〜ギイ〜と鳴き、木をコツコツとつついてる。以前、地元の人に「コゲラ」の目撃情報を聞いてたので“ついに会えた”と感動の一瞬でした。	Dブロック 小巖 たづ子
13	イソヒヨドリ ハシブトガラス	本日は曇りですが、11月としては暖かい感じのする日でした。 イソヒヨドリは、江北橋の橋げたに止まっていたのを確認、ハシブトガラスは、ほとんどが対岸方向から飛んで来ていました。	Bブロック 清水 猛

11月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
13	ウミネコ チョウゲンボウ カワセミ	調査地着直後、ウミネコに追われるチョウゲンボウを上空で見る。チョウゲンボウを見るのは久しぶりです。 もうひとつ久しぶりなのはカワセミ、いきなり飛んで来ました。 なぜかムクドリ、スズメがいなかった。なぜでしょう？	Bブロック 鈴木 操
13	ツグミ アオジ ムクドリ カワウ	・ツグミ、アオジ、本日初見。 ・ムクドリが群れていた。（100羽、40羽） ・カワウの群れ（40羽位）が荒川上流を目指して雁行していった。 （以上、11/13AM 7 頃、荒川右岸河川敷鹿浜橋付近）	Aブロック 直木 大助
14	カルガモ ハクセキレイ	地域内「八ッ口公園」では、ケヤキ・プラタナスなどの大樹十数本が思いきった間引き、剪定作業が行われたので、野鳥たちには不向きとなっていた。立派に再生ができるよう祈っています。 元渚江公園の池のカルガモは、前回より更に多くなっていた。観察中、3羽が外部に向け飛び立っていきました。 ハクセキレイは、地域内で昨年も11月に見つけました。	Dブロック 柳橋 元八
15	コガモ アオサギ ダイサギ コサギ ウミネコ	手袋してくればよかったと後悔する。天気は快晴です。 川沿いの通行止めの遊歩道のところで一部水浸しの所があり、そこでエサとりしている。コガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ウミネコなど集まっています。 賑やかな観察でした。	Aブロック 内田 千恵子
17	スズメ イカルチドリ	・扇大橋寄りの土手の上にある桜の木の植栽付近にスズメが集まっていた（約80羽）。特に餌がまかれた様子はなかった。 ・西新井橋と扇大橋の中間位にある川の中にある一本の杭の上に、イカルチドリが2羽並んで止まっていた。	Bブロック 渡辺 浩
17	サギ シギ カワセミ カワラヒワ	潮が満ちた状態で干潟が少なく、サギやシギなどはあまり見られなかった。農業公園の池と荒川の沈床でカワセミが採餌していた。カワラヒワの群舞を川原で久しぶりに見ることができた。	Cブロック 永田 久男
18	ウソ	初めて公団の庭でウソを見ました。3羽とも喉の赤い雄でした。	Eブロック 玉名 久美子

11月

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
18	ジョウビタキ カワラヒワ ヒヨドリ	雲一つない澄みきった空の下、落葉にまじったピンク色の山茶花の花びらが目にしみます。 今年は、稲荷神社で「ジョウビタキ」をみることができました。 柿の実をついばんでいる「カワラヒワ」もうれしい光景です。 しかし、10月末にはにぎやかに連れだって来ていた「ヒヨドリ」の数の少ない朝でした。	Dブロック 久保田 靖子
19	ヒガラ	「ヒガラ」について、カネタタキ(昆虫)の鳴くようにも聞こえた。一見シジュウカラに似るが、小さい。 大きさはメジロぐらいか、やや小さめにも感じた。	Eブロック 伊藤 誠一郎
20	ウグイス アオジ ハクセキレイ ツグミ ウソ カルガモ ハシビロガモ コガモ アオサギ コサギ ダイサギ	11月20日、晴れ、風なし。寒くなく、ウグイスやアオジが葦の間から姿を見せたり、葦の外に出てきたり、調査日として気分の良い日。 調査を始めた途端、ハクセキレイが2羽登場。ツグミがキキキと鳴き声を挙げながら毛長川を横切る。その後、まさかのサプライズ。嘘ッ。ウソが2羽やってきて毛長川沿いのフェンスに止まる。あわててカメラを背中のバッグから取り出そうとしたが、あっという間にもと来たほうに戻って行った。1羽はトキ色ののどといい、羽色はまさしくオスのウソ。もう1羽はメスのようだ。11月には川口のすぐ北でウソが見られているのでいてもおかしくはないが、毛長川に出現したのは驚きであった。カルガモ、ハシビロガモは一週間くらい前の半分ほど。コガモは見られたが、一昨年前よりかなり少ない。アオサギ、コサギ、ダイサギは久し振りに3種そろい踏み。冬にいつも見られたゴイサギは見られなかった。しかし、寒くなって22種見られたのは嬉しかった。	Cブロック 藤波 誠治
22	ツグミ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> 冬桜(十月ザクラ)が咲いていた。 ツグミがグラウンドに集まっていた。 ウグイスは地鳴きで居場所をおしえてくれた。(2カ所) 	Eブロック 半澤 ヤイ
24	シジュウカラ メジロ ウグイス ツグミ ジョウビタキ	くもり時々小雨の中、シジュウカラとメジロと一緒に居るのが目立ちました。 ウグイスは、ジャッジャッと地鳴を聞くことができました。 冬鳥のツグミとジョウビタキ、1羽ずつですが、見ることができました。	Eブロック 安藤 京子
24	ツグミ コガモ イソシギ	冬鳥のツグミ、コガモ、今年の初見。 いつもと同じ場所で、イソシギに逢えて気分よし。 鳥数は少なかったが、14種確認できて楽しい2時間でした。	Eブロック 市川 トシ

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
24	メジロ ハシブトガラス ハクセキレイ	メジロが、民家の庭先でチーチと鳴いていた。 朝早くからハシブトガラスの群が大きな声で騒いでいたのは、何か意味があるのだろうか？ 他の日、時間帯にもハクセキレイをよく見かけます。	Dブロック 矢野 毅
24	ヒドリガモ ヒヨドリ	曇空で風は冷たく、冬鳥を期待して出かけたが鳥影が少ない。 ツグミ、ジョウビタキにも出会わず、スーパー堤防でヒドリガモを川面と護岸で確認、ヒヨドリだけにぎやかでした。	Aブロック 前田 三重子
25	スズメ ヒヨドリ ムクドリ	スズメ、ヒヨドリ、ムクドリの街での個体数が多かった。 千寿桜堤中学校手前より(荒川右岸)堤防強化工事のため、25年3月15日迄通行止となっていました。	Aブロック 北島 喜彦
25		すっかり寒くなって、やっぱり鳥達は羽のジャンパーを着ているから、一年を通して冬が一番居心地の良い季節なんだと思われる今日でした。	Dブロック 山田 友治
25		冬鳥がだいぶ増えました。	Aブロック 長谷川 淳
25	ヒヨドリ ツグミ	寒さも増してきて、ヒヨドリたちがますます元気に飛び回っていました。 今季は、去年あまり見かけなかったツグミも見かけるようになり、冬鳥たちも順調のように感じました。 今回の毛長川は、前回調査した時に見られたカルガモの姿が確認できませんでしたが、また水なども増えてくれればと思いました。	Cブロック 中尾 文枝
25		朝から暖かい日差しが降り注ぎ絶好の調査日和になったので多くの出会いを期待して出かけたのですが、期待はずれでした。 野球をする人でグラウンドも土手も人だらけ、これでは鳥はおりません。早々に川岸に行くと、いつもよく見る様な水鳥に出合いました。 やはり鳥の姿を見るということは嬉しいものです。	Bブロック 湯田 和彦
27	ムクドリ スズメ	太陽が出て日差しはあるが北西風が強く気温が低い。 これまで土手上にはムクドリ、スズメ等多く見かけていたが、土手下風当たりの少ない民家側に移ってしまったようだ。 いつも沢山のムクドリを見かけるゴルフ練習場のネットの柱にも、数羽を見かけたただけだった。	Eブロック 岩崎 孝和

11月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
28	ハヤブサ チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びピア21の屋上近くの小屋根に、ハヤブサが10月26日から来ていましたが、調査日の11月28日には姿が見えませんでした。来るようになって4年目ですが、同じ個体のようにです。 ・ 鉄橋工事が始まり、寄りついたチョウゲンボウに影響が出そうです。 	Aブロック 村澤 嘉信
29	カモメ カモ	<p>カモメ類の遡上が年々少なくなっています。 カモ類も昨年から大分少なくなっています。</p> <p>※ 11/19、環七外回りの加平二丁目交差点付近のイチョウの木数本に、ハクセキレイの群れが飛来しているのを目撃した。 夕方5時少し前から暗くなるにつれてイチョウの木に集りだし、その数は少なくとも100羽以上。 環七の騒音、照明の明るい場所が、ハクセキレイの集団ねぐらとして安全な場所になっているようです。</p>	Eブロック 根本 一郎

平成25年1月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
5		今朝は、とても寒い朝でした。 拘置所脇の水路に氷が張って、珍しく霜柱もたくさん踏めました。《五反野コミセン水路》	Dブロック 山田 友治
5	シメ	扇大橋～西新井橋の中間位にある野球場（「減速」の河川通行標識がある近く）の木に、シメが4羽止まっていた。	Bブロック 渡辺 浩
6	ツグミ シジュウカラ メジロ フクロウ ヒドリガモ コサギ イソシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・ツグミが、公園の中の境目に立っている木々に群れて止まっていた。8本程の木にいた。 ・桑袋団地の常緑樹の葉があちこちで揺れていた。隠れるように素早く移動していたので、何の鳥かなかなか確認できなかった。近くに寄って観察を続けるうちに、シジュウカラ数羽とメジロを見ることができた。目視できた数だけ記録した。 ・大鷲神社の木々の中から、ホッホッホーホッホッホーとフクロウらしき声だけが聞こえた。はじめての事に驚いた。 ・川辺の草地にヒドリガモが群れて草をついばんでいた。めずらしい光景なのでしばらく観察してビオトープ公園に移動。蓮田もため池も薄氷が張っていて、水鳥の姿は一羽も無かった。 ・コサギが1羽来たが、えさも探さず、すぐ飛び去って行った。 ・イソシギが、草地に上がって休んでいるヒドリガモの間を横切って通っていた。ヒドリガモは何の動きも示さず、お互い受け入れ合っているような状況だった。 	Dブロック 羽賀 節子
7	スズメ ヒヨドリ ハシブトガラス ムクドリ	<p>明るくなるのを待って出発。雲多く風なし。鳥の声も少なめ。陽がビルの上方に当たり出した頃、漸く鳥の動きが見え始める。それでも木の枝の中や屋根近くでじっとしているものが多く、探すのに時間がかかった。</p> <p>スズメは9時過ぎても5羽、10羽で、アンテナや木の小枝に固まっているものあり、声もあまり出していなかった。</p> <p>今日まで学校が休みのせいか、街中が静かな気がした。大きな道路の車の音を除けば、ヒヨドリのさえずりとピーィピー叫ぶ声以外は、時々スズメとハシブトガラス、ムクドリが少し声を出すだけと自分の足音だけ、静かな朝だった。</p>	Eブロック 大和田 司
8	ハシブトガラス ハシボソガラス	親水公園のカラスが、古千谷地区はハシブトガラス、舎人地区はハシボソガラスと、住み分けのようなのを今回発見、引き続き観察してみます。 ゴミ出しの日なので、はっきりしていたのでしょうか？	Cブロック 菱田 恭子

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
11	アカハラ	遠くの木にツグミ?と思ったら、アカハラが1羽とまっていました。 この場所でアカハラを見たのは初めてかも・・・知れない。	Bブロック 鈴木 操
12	メジロ ムクドリ イソシギ	ビワの花にメジロが集い、朝日を浴びてきれいだった。 ムクドリが聞いたこともないような甘い美声で、そろそろ恋の季節かも。 イソシギ家族が護岸で三羽うずくまり、とても寒そうだった。	Eブロック 市川 トシ
12	キジバト オナガガモ ヒドリガモ シロハラ	今朝も霜柱が立ち、薄氷の張る寒い調査日です。 このような中、キジバトが多く見られました。動きも活発ですが、冬枯の木に鈴なりに止まっています。 この様子を近くにいた野鳥カメラマンに聞けば、このところ猛禽類の飛来が少ないとのこと。 そういえば、最近カラスの鳴声、動きも落ち付いています。 大池の水鳥に餌をやる人がいて、オナガガモ、ヒドリガモが餌を求め、動きが早く、特にメスの見きわめが出来づらく、数をするのにひと苦労、落ち付いてからと思っていたのですが、なかなか餌付けをやめず、あきらめました。その時の数、60~70羽いたと思われる。 シロハラがこんなに見られたのは、初めてです。	Cブロック 羽賀 清行
12	メジロ	出発地点の西新井栄公園には、おびただしい数のメジロがあっちのサザンカの木、こっちのしげみと行き交って、複雑な声を重ねていました。 後半に歩いた亀田公園には、珍しく小鳥が一羽も見られませんでした。 この日は2℃位だったので、寒すぎたのでしょうか。	Bブロック 宮田 妙子
12	カワラヒワ	寒い朝でしたが、小鳥は多くいました。楽しく調査が出来ました。 鹿浜橋すぐ下の草原に、カワラヒワが数十羽いました。その近くではショベルカーが土を掘っていて、カワラヒワがいる草原もなくなるのではと、気になりました。	Bブロック 森 美智子
13	ヒヨドリ オオジュリン	荒川が満潮で、干潟の鳥が見られなくて残念でした。庭の柿もだいぶ残り少なくなり、鳥たちにとって一番過酷な季節がやって来ました。 通りに面した小さなピラカンサの鉢植えにも、ヒヨドリは来ていました。 河川敷のあし原で、あまり声が聞こえなくなっていたオオジュリンの声がしました。	Aブロック 綱藤 敏郎

1月

観察日	種名	観察記録	観察者(敬称略)
13	スズメ メジロ ムクドリ カワラヒワ	スズメ、メジロ、ムクドリ、カワラヒワが、餌場となる休耕している畑に群れていた。	Bブロック 内田 保
13	ジョウビタキ シメ ヒヨドリ ツグミ	全体に鳥の数が多く、種類もジョウビタキやシメが見られました。 北山谷公園のネズミモチの木に、ヒヨドリとツグミがむらがって、実を食べていました。	Eブロック 安藤 京子
13	ヒヨドリ ジョウビタキ メジロ シジュウカラ	快晴の朝です。ヒヨドリが元気な鳴き声で飛び廻っています。 ジョウビタキも見られました。干し柿モドキの実をつけた柿の木にメジロ3羽、うれしい光景です。 また今朝は、シジュウカラのカウントが出来た、重ねてうれしい朝でした。	Dブロック 久保田 靖子
18		積雪が残っているので、朝はよけい冷たい。 9時頃、堀切駅近く綾瀬川沿いで編隊飛行して荒川上流に向かって飛んでいるのを見つけた。全体的に黒っぽく見えました。あっという間でした。	Aブロック 内田 千恵子
19	ツグミ チョウゲンボウ アオサギ ヒドリガモ スズメ ヒヨドリ	ツグミは町中では2羽見たが、千住大橋駅前の草原では雪の残るなかあちらこちらで採餌中でした。1羽がクワツと鳴いて飛立つと、あちらこちらから一斉に5~6羽飛立ち、外の鳥達も飛立ちました。その後をうす茶色の鳥が滑空して行きました。え！！ワシタカ？予想もしていなかった一瞬の出来事に、こんな場所にチョウゲンボウ？これからは予測をもって調査しなければと思いましたが、ここは1月中にマンションの工事が始まる看板がありました。 隅田川尾竹橋下流左岸修景工事中で、スーパー堤防前に工事の船が入り、ヒドリガモが皆荒川区側に移動して、足立区側には一羽もいなかった。荒川区側にアオサギ1、ヒドリガモ100、護岸でひなたぼっこ中。 朝の寒さでスズメやヒヨドリは、梢の日の当たる場所に止って温まっている感じ。	Aブロック 前田 三重子
20	コゲラ シメ モズ アカハラ アオジ	今日は寒かったが、晴れのおだやかな日だったので、久しぶりのコゲラ、シメ、モズ、アカハラ、アオジ等が出てきてくれて、うれしい調査日でした。 ウグイスは、我が家の餌台には良く来るのに、今日は会えなかった。	Eブロック 嵯峨 信子
21	カルガモ オナガガモ カワセミ	・14日に降った雪がまだ残り、雪で折れた木の枝の片付が大変そうでした。 ・雪で餌が無い(もらえない)のか、カルガモとオナガガモが居なくなった。 ・公園のカワセミは、集まるカメラマニアに餌付けされている。	Eブロック 半澤 ヤイ

1月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
21	イソヒヨドリ ベニマシコ チョウゲンボウ ジョウビタキ タヒバリ アオジ カシラダカ ホオジロ オオジュリン	今日（1/21）は晴、風ほとんどなし。32種と多くの鳥が観察された。 イソヒヨドリ（メス）、ベニマシコ（オス・メス）は初見。その他、チョウゲンボウ（オス）、ジョウビタキ（オス）、タヒバリ、アオジ、カシラダカ、ホオジロ、オオジュリンなどが現れてくれた。	Aブロック 直木 大助
21	ムクドリ ヒヨドリ ツグミ ヒドリガモ	今月14日に降った雪が園内各所に残っていたが、野鳥の種類も数も多く、久しぶりに充実した調査をすることができた。 特にネズミモチの実が落ちている場所では、ムクドリやヒヨドリ、それにツグミも加わって、集団で餌を漁っていたのが壮観だった。 カモ類、カモメ類が年々少なくなっているようです。 なお、担当区域外でヒドリガモ67を観察しました。近所の団地でスズメに餌を与えているようで、30羽程のスズメが群がっています。	Eブロック 根本 一郎
23	コガモ	いつも見られるコサギ、アオサギ、ダイサギ、冬期にいつも見られるゴイサギを見なかった。なぜだろうか。カワウも見られず、数年前まで冬に60羽も見られたユリカモメも0、今回の不思議、ハシブトガラス0、カワセミも見られず、コガモは戻って来た。	Cブロック 藤波 誠治
23	ヒドリガモ	河川敷の工事・・・堤防工事で調査地域の約半分が調査不能でした。 60～70のヒドリガモが対岸（葛飾区側）のグラウンドに上がっていた。	Aブロック 村澤 嘉信
25	スズメ メジロ オナガ ムクドリ ヒヨドリ ツグミ ジョウビタキ シメ オオジュリン	今朝の千草園では、スズメ、メジロ、オナガ、ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミ、ジョウビタキ、シメと賑やかだった。 荒川右岸堀切橋近くのアシ原が少なくなってきたので心配していたが、オオジュリンが来てくれた。	Aブロック 北島 喜彦
25	ツグミ カルガモ	1/14大雪の残雪が寄せ山として積まれているものを除き、町中ではほぼ消滅し、平常に戻っていた。 今朝は、寒中には比較的暖かかったせいもあってか、鳥達の動きが良かったように思われた。 昨年は3月に観察したツグミに数ヶ所で遭遇した。 元渚江公園のカルガモは、春生れの9羽と一緒に行動しており、他の3羽は別のところで昼寝状態にあった。今年の繁殖期には如何なるか関心事である。	Dブロック 柳橋 元八

1月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
25		河川敷の雪解けを待っての調査でした。 本日は気温も高く、また風も少ないせいか、種類/数ともかなり確認出来ました。	Bブロック 清水 猛
25	シメ	・これまで「オナガ」を多く観たが、今回は皆無であった。 ・久しぶりに「シメ」を観た。他にもいるか探したが、1羽のみであった。 ・我家の庭では毎日「ジョウビタキ」を見るが、調査では観られない。	Eブロック 伊藤 誠一郎
25		まあまあの観察日和でしたが、河川敷で残土の搬出入工事がかなり広い範囲で行われているせいか、いつもより鳥の数が少ないような感じでした。	Bブロック 清水 猛
26	ユリカモメ	いつもは中川を上流に向かって飛んで行くユリカモメが、30羽位づつ上昇気流に乗っているように、輪を描いて飛んでいる。	Eブロック 玉名 久美子
26	メジロ	毛長川に工事が入ったため、水鳥の姿を見かけませんでした。 白旗塚史跡公園は小さな公園であるが、普段見かける鳥たちのオアシスになっているようです。 また、メジロなども見られるようになってきました。	Cブロック 中尾 文枝
26		寒い日の調査でしたが、10種を確認、まずまずの成果でした。	Dブロック 坪内 淑子
26	スズメ ヒヨドリ ワカケホンセイインコ	快晴、厳しい冷込みの中の調査で11種を確認しました。 スズメとヒヨドリの個体数が目立っていた。 モニター調査では、初めてワカケホンセイインコ1羽を確認しました。	Dブロック 坪内 英昭
27	カルガモ	モニターを始めて最も寒い冬かも・・・と霜柱を踏みながら思った。単調だった調査も、先回の“コゲラ発見”とこの時期は水鳥が見れるという期待で、少し心が軽かった。毛長川で水鳥2種と桜花亭でカルガモを見ることができた。3年目にして何とか1年のサイクルがわかってきた気がする。	Dブロック 小巖 たづ子
27	ハシボソガラス	ハシボソガラスが、ずーっと同じところで鳴いていた。何かを警戒しているようだった。	Aブロック 長谷川 淳

1月

観察日	種 名	観 察 記 録	観 察 者 (敬称略)
27	メジロ	メジロがチーチーとさえずりながら、多く見られました。 昨年より多く見られる様になった気がします。	Dブロック 矢野 毅
28	キンクロハジロ カルガモ	左岸から1/3ぐらいの所に、あまり見たことのない水鳥が1羽泳いでいました。 よく見ると、キンクロハジロでした。 50Mぐらい下流に2羽のカルガモが泳いでいたのですが、キンクロハジロは仲間と思ったのか近寄って行ったのですが、仲間でない事が分かりすぐに離れて行ってしまいました。	Bブロック 湯田 和彦
31	アオジ メジロ オオジュリン	風もなく暖か。アオジもいる。 メジロとオオジュリンが、混群でヨシ原の中で採食していた。	Aブロック 井灘 志げ子

平成25年3月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
2	コゲラ	<ul style="list-style-type: none"> ・毛長川のこの日は、カモ類などは見かけませんでしたが、日によって飛んできているようでした。 ・また、小さな公園でコゲラが木の幹を啄いている姿がとても印象的でした。 	Cブロック 中尾 文枝
2	スズメ オオバン ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日3月1日は春一番が吹いたが、日本海を北上した低気圧が北海道付近で発達して、今日は北西の風が強く吹いている。風に花粉が混じり最悪のコンディションです。ほとんど目を開けていられません。スズメのさえずりってどんなの？と思いながら、高い所で鳴いているスズメの恋する気持ちを羨ましく思いながら、荒川へでました。今回も満潮で干潟がなく、残念でした。 ・水際の特ウネズミモチの実はずっかり食べ尽くされ、鳥の姿はありませんでした。荒川にはオオバンがたくましく泳いでいました。オオバンもカワセミくらい美しければみんな注目するのになあ。 ・桜木二丁目団地のスズメは餌付けされている群れで、いつも餌をあげているのが2~3人のおじさんなんです。だから餌をあげない私にも寄って来ます。 ハシボソガラスの夫婦がいて巣が近くにはないかと思いましたが、分かりませんでした。 	Aブロック 綱藤 敏郎
2	オナガ シメ	<ul style="list-style-type: none"> ・大谷田公園にて。今冬のロウバイは、開花が遅く、やっと咲きそろっていました。そのロウバイの木に、オナガの群が集まっています。花や芽を食べているようです。 ・隣接する梅園の梅も見頃を迎え、良いかおりが漂っていました。ここでは、シメも観察することが出来ました。 	Eブロック 谷田貝 知子
3	オオジュリン アカハラ	<ul style="list-style-type: none"> ・風の強い満潮に近い時間帯で水辺の鳥は少なかったが、アシ原に風をさけるようにオオジュリンなどが確認された。 ・他に背の緑がかったものや腹が赤味をおびた小鳥もいたが、特定できなかった。 ・アカハラは、都市農業公園では初めての確認。梅の下で採餌中でした。 	Cブロック 永田 久男
5	メジロ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・千草園で白梅の蜜を吸うメジロ2羽。犬をつれた散歩の人や自転車が通っても無心に吸っていたが、ヒヨドリがとまると飛び立っていった。 	Aブロック 北島 喜彦

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
5	シジュウカラ ウグイス シメ ジョウビタキ メジロ ウグイス アオジ シジュウカラ アカハラ シロハラ	<ul style="list-style-type: none"> 今日は暖かさに誘われたのか、終盤に近付いた頃、シジュウカラとウグイスが上下で一緒にさえずっていて、しばらく楽しみました。 歩き始めた時には居なくて残念だったシメも、最後に出てきてくれて、ラッキーな一日でした。 今年の2月は、あまり手入れをしていない隣の庭からの通り道になっている我が家の庭には、ジョウビタキ、メジロ、ウグイス、アオジ、シジュウカラ、アカハラ、猫に追われたシロハラ等、毎日楽しませてもらいました。 	Eブロック 嵯峨 信子
5	シメ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> シメが2月から来てたのに、調査日は観察できなかった。 3月7日、ウグイスはツツジの植込みで鳴く練習中。少し下手だった。 	Eブロック 半澤 ヤイ
5	モズ ホオアカ ヒバリ ノスリ	<ul style="list-style-type: none"> モズがオオヨシキリ、センダイムシクイなどの鳴きまねをしていた。よく似ているのにビックリした。（3/5鹿浜橋下流右岸）。 昨年につづいて今年もホオアカが飛来していた。 今日は暖かく、ヒバリが上空でさえずっていた（今季の初鳴は1/29）。 ノスリ：2/11荒川河川敷鹿浜橋下流右岸で初見。 	Aブロック 直木 大助
6	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 気温はやや低いが、快晴の中の調査、確認種12、個体数97でまずまずの成果。 スズメの鳴声が高音で良くひびき、繁殖期が近いと感じました。 ルート沿いの民家の庭や畑で梅が見頃となり、目を楽しませてくれました。 	Dブロック 坪内 英昭
6	ベニマシコ	<ul style="list-style-type: none"> ベニマシコ♂。きれいな赤色。この場所、初お目見えで感激です。 	Bブロック 鈴木 操
6	ホオジロ オオジュリン アオジ ヒバリ イソヒヨドリ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> 以前はまれだったホオジロが8羽いた。環境の変化か最近観察される。 川岸のヨシ原では、オオジュリンが活発に採食していた。例年3月に多くなる。 ヨシ原にいるアオジが驚いて近くの枝に止まると、黄色の下面がはっきり見えて美しい。 ヒバリは上空でさえずり？イソヒヨドリは雌雄ともいて、風によってかすかにさえずりの声がある。 近くでは、ウグイスがやさしい声でさえずっていた。しばらくしてもう一度きてみると、同じようにやさしく静かに鳴いていた。 暖かな3月初旬、枯れたヨシ原はもう春でした。 	Aブロック 井灘 志げ子

3月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
6	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 朝の最低気温も少しづつ上昇してる中、今朝はしっかりと春を感じながら歩いた。 鳥達も番いで行動している様子が多く見られた。特にムクドリは恋の季節、一本の樹の中で数組の番いが睦みあ合って大騒ぎであった。 元渚江公園内の人工池の大きい方は、水を抜いての清掃後50cm程の水量であり、元の姿に戻るのには数週間を要するものと思われた。 	Dブロック 柳橋 元八
6	ヒヨドリ シメ コイカル	<ul style="list-style-type: none"> 6:30現地到着。白梅とサザンカ満開の中、ヒヨがピーピーと迎えてくれた。 いつものコース、最初に佐野公園で2羽見慣れぬ小鳥を見る。シメかと思ったが、違うようだ。嘴が黄色っぽく尾羽に近い所に白斑あり。調べるとコイカル、納得。 調査中、指先こごえてきつかったが、8時30分頃には日射しが強く、暖かかった。来た時よりも大きな声で鳴きかうヒヨの声を聞きながら、調査終了。 	Eブロック 大和田 司
6	ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> 調査を終えて自宅に帰ったところ、ちょうどウグイスの鳴くのを聞いた。今年初です。 今日はすっかり春めいた。鳥も「バン」が多く見られ、鳴き声もにぎやかになった。 	Eブロック 伊藤 誠一郎
9	オナガ	<ul style="list-style-type: none"> オナガ：キンカンの木が揺れていたもので観察すると、中にオナガが2羽、まわりの他の木の枝に1羽ずつ止まっていた。キンカンの実を食べに来ていた。 	Dブロック 羽賀 節子
9	シメ ジョウビタキ スズメ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 春の陽気の中、もう冬鳥はいないかと思っていたのですが、1月にモニターした時に見たのと同じ場所に、シメもジョウビタキもまだいました。 スズメが巣材を電柱のトランスの穴に集めていました。 オナガの10羽以上の集団を2回も見ました。 	Eブロック 安藤 京子
9	カワセミ	<p>西新井橋と扇大橋の中間あたりの川の中にある杭の上に、カワセミが止まっていた。体の半分位の長さがあるタウナギの幼魚と思われる魚をくわえていたが、何とか飲み込んだ。逆光のため、カワセミの雌雄の識別はできなかった。タウナギは移入種だが、東京でも記録がある（国立環境研究所 侵入生物データベース）ので、荒川にいても不思議ではないと思う。</p>	Bブロック 渡辺 浩

3月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
9	ハシブトガラス ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> ・土手のピンク色した十月桜が満開になりとてもきれいでした。 ・うららかな春の日ざしに鳥たちは飛び交っていました。 ・江北橋で、二羽のハシブトガラスが枯れ草をくわえて飛んで行くのを見かけました。 ・荒川の水辺近く、ヨシの中にうぐいすが一羽いました。チャッチャッと鳴きながら動いていました。 	Bブロック 森 美智子
9	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が上がって初夏の陽気、こぶしやモクレンの花芽がふくらみ、ミツマタ・木瓜が咲き始め、散り始めた梅の木にヒヨドリが群がる春の風景。 ・（花粉症さえなければゆっくり楽しめたのですが…） ・巣材集めのスズメたちは気合が入っていました。 	Bブロック 宮田 妙子
9	ウグイス マヒワ シロハラ シメ アカハラ カワラヒラ オオジュリン ヒヨドリ カラス	<ul style="list-style-type: none"> ・3月9日（土）AM7:00舎人公園バーベキュー広場から調査を始める。 ・どこからとなくウグイスの鳴声が聞こえる。柳の枝も薄緑になり始めた。 ・調査の今朝の気温14℃、今の時節にしては暖かで調査としての気温は申し分ないが、舎人公園のC地区（バードサンクチュアリ）は大がかりな造成工事が始まり工事関係者以外は入れないように柵が付けられてしまった。 ・私の通常の調査コースはこの中を回ってD地区（野球場の一部）そしてB地区（大池周辺）を回って約3時間のコースである。 ・今回は取りあえず、B地区（バーベキュー広場）からスタートして、大池周辺D地区（野球場）を左まわりをしてA地区（西園、レーガン桜）から再び大池と帰ってくる。しかし、問題点が出てしまった。と言うのは、朝の早い時間、朝日が低いうちに大池の西側から観察すると逆光となって、私の技量では特に水鳥の識別が出来ずらく陽がもう少し上ってからの方が良いことがわかった。 ・たまたま対岸のキャンプ広場から餌やりをしている人がいて水鳥、ヒヨドリ、カラス等がそのまわりに群がっていて数が取れにくく後まわしにすることにした。 ・マヒワはB地区フィットネス広場。D地区野球場トイレ。A地区西園付近で。 ・シロハラはB地区お花見広場で。 ・シメはB地区じゃぶじゃぶ池付近とD地区野球場東側の林の中で。 ・アカハラはD地区野球場南側の林の中で。 ・カワラヒラはD地区野球場の芝の上で。 ・オオジュリンはB地区大池南のヨシの中で。 ・D地区、A地区は、早朝の散歩者も少ないので野鳥が入りやすいのかも。 	Cブロック 羽賀 清行

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
10	カラス	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスの巣造りが2ヶ所（楠木）で見られた。近頃は針金ハンガーが少なくなったせいかな、かなり頑丈そうなプラスチックハンガーを巣に運んでいた。 ・最近（震災後）公園や、街路樹の伐採が増えた気がし鳥達の住居確保が心配です。 	Dブロック 小巖 たづ子
10	スズメ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・電線やトランス付近で鳴きかわしているスズメ達、久方ぶりに数の多さにうれしくなりました。 ・ジョウビタキも西新井公園の芝生の上で見ることができました。 ・今日は午後から黄砂の襲来との予報がありました。鳥達にはどのような影響があるのか心配です。 	Dブロック 久保田 靖子
10	オナガ	<ul style="list-style-type: none"> ・千住曙町公園に着くと通過中のオナガ10羽に遭遇した。 	Aブロック 北島 喜彦
10	ハシブトガラス アオジ	<ul style="list-style-type: none"> ・餌台に集っていた。 ・ハシブトガラス、巣材集め中。若鳥。 ・今日、暖かい朝でした。五反野コミュニティ公園でアオジが見られました。 	Dブロック 山田 友治
10	ウグイス ユリカモメ アオジ オオジュリン メジロ カイツブリ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の調査は「ホーホケキョ」と鳴くウグイスの声で始まった。その直後、以前、冬には何十羽も見られたが、最近とんと見かけなくなったユリカモメが1羽下流に向かって飛んで行き、また、上流に向かって行った。 ・カワセミは、毛長川と見沼用水の合流点にできた堰堤の上で甲高い声を響かせていた。おそらく1年ぶりの観察ではないだろうか。 ・アオジ、オオジュリン、メジロも何度も姿を見せ、2年ぶりくらいになるカイツブリも姿を見せた。 ・良く晴れた暖かい日であったが、今回は珍しく大変幸せな2時間の野鳥調査であった。 	Cブロック 藤波 誠治
11	ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、大潮の干潮に当たったためか大きな干潟が現れていたので多くの水鳥が休んだりえさをついばんでいました。中でもユリカモメは、調査日では久しぶりにたくさんの数がいました。 	Bブロック 湯田 和彦
12	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> ・先月、我が家近辺にツグミが4～5羽遊んでいた。 	Cブロック 菱田 恭子
12	カモメ カモ シジュウカラ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> ・カモメ類、カモ類が帰り始めたようで、数が大分少なくなっていました。 ・シジュウカラがよく囀っていました。 ・ツグミがそろそろ帰り支度か、集っていました。 	Eブロック 根本 一郎

3月

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
-----	----	------	----------

12	ウグイス アオジ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川の河川敷に向かう途中の公園で、ウグイスの声を聞きました。 ・河川敷は風が強かったのですが、アオジやジョウビタキも確認でき、楽しい調査でした。 	Bブロック 清水 猛
13	イソシギ ムクドリ カワラヒワ	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の度に逢うイソシギは、いつもの様に現れた。今日は1羽だけ。 ・公園では、ムクドリが大きめの食べ物を数羽でうばい合っている。ムクドリもかなりはげしい奪い合をするものです。 ・カワラヒワが、キリコロと軽やかな鳴き声を聞かせてくれた 	Eブロック 市川 トシ
15	オナガ キジバト メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・オナガ2羽が、公園の木の所にいました。 ・キジバトの夫婦が仲よく巣を作って？いた。 ・メジロも多く見られた。 	Dブロック 矢野 毅
15	ハヤブサ ツグミ タヒバリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハヤブサ (2) …今年あまり姿を見せなかったハヤブサが、今日の調査で「番 (つがい) の状態」で学び21の屋上近くの小屋根にいた。2羽の距離は2mほどでペアと思われます。 ・荒川河川敷…堤防工事で調査域が半減。ヒバリ不在でツグミの姿も少なかった。隣接調査地にタヒバリが群れていました。 	Aブロック 村澤 嘉信
16	シラコバト	<ul style="list-style-type: none"> ・墨堤通添のお家の門扉の上に止まっているシラコバトを発見。しばらく振りに見られたなと思ったら扉の中へ。フェンスから中をのぞくと餌のお皿からお食事中。ああ餌付けをされていたのネ、としばらく見ていると、お家の方が「もう10年前から餌をあげています。朝は餌を待っていて、外出から帰ると寄って来る」と話されました。記録を見ると、2007年7月から2009年9月迄の記録がありました。私がはじめて見た東電の敷地とも近いし、同一個体とも思うし、久し振りの対面で嬉しかったです。 	Aブロック 前田 三重子
19	コチドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・相変わらず土砂の搬出入工事が行われていましたが、雨上がりの暖かい日のせいか、種類も数もかなり確認できました。 ・河川敷の土砂をならしたばかりの場所で、コチドリが歩き回ったり、飛び回ったりしていたのが印象的でした。 	Bブロック 清水 猛
20	カルガモ オオバン	<ul style="list-style-type: none"> ・カルガモの群れ発見。陸にあがって草むらをついばんでいた。 ・近くにオオバンの群れもいた。オオバンも陸にあがって草むらをついばんでいた。 	Aブロック 長谷川 淳

資料編

資料 1

平成24年度 野鳥モニタ一名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

NO	氏名	担当地域①		担当地域②	
1	安藤 京子	E	東和全域・谷中公園		
2	市川 トシ	E	神明南一・二丁目、北加平町		
3	伊藤 誠一郎	E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園		
4	井灘 昱雄	A	宮城全域（河川敷含む）		
5	井灘 志げ子	A	小台全域（河川敷含む）		
6	岩崎 孝和	E	佐野一丁目、六木二丁目 （中川含む）		
7	内田 千恵子	A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町、千住橋戸町		
8	内田 保	B	興野二丁目、扇三丁目		
9	大和田 司	E	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目		
10	北島 喜彦	A	柳原一・二丁目 （荒川右岸河川敷含む）		
11	久保田 靖子	D	梅島一～三丁目		
12	小巖 たづ子	D	花畑三～五丁目		
13	嵯峨 信子	E	神明一～三丁目、六木三・四丁目 （圀川、中川含む）		
14	清水 猛	B	江北橋～扇大橋 （荒川左岸河川敷）	B	鹿浜橋～熊之木 （荒川左岸河川敷）
15	鈴木 操	B	千住新橋～東武線鉄橋南 （荒川左岸河川敷）		
16	玉名 久美子	E	大谷田一丁目		
17	綱藤 敏郎	A	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目		
18	坪内 淑子	D	西保木間一～三丁目		
19	坪内 英昭	D	保木間四～五丁目		
20	直木 大助	A	新田全域（荒川右岸河川敷含む）		

NO	氏名	担当地域①		担当地域②	
21	中尾 文枝	C	西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目、伊興本町一・二丁目		
22	永田 久男	C	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）		
23	根本 一郎	E	中川五丁目 （中川右岸区境まで含む）		
24	羽賀 清行	C	舎人公園		
25	羽賀 節子	D	花畑七・八丁目		
26	長谷川 淳	A	西新井橋～千住新橋 （荒川河川敷右岸）		
27	半澤 ヤイ	E	東綾瀬公園		
28	菱田 恭子	C	舎人一・二丁目 （見沼代親水公園含む）		
29	藤波 誠治	C	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目		
30	前田 三重子	A	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町		
31	宮田 妙子	B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目		
32	村澤 嘉信	A	千住五丁目、日ノ出町全域 （河川敷含む）		
33	森 美智子	B	熊之木～江北橋 （荒川左岸河川敷）		
34	谷田貝 知子	E	大谷田二（中川含む）～五丁目		
35	柳橋 元八	D	保木間一～三丁目		
36	矢野 毅	D	島根全域		
37	山田 友治	D	西綾瀬全域		
38	山中 栄二	C	入谷三丁目		
39	湯田 和彦	B	西新井橋～千住新橋 （荒川河川敷左岸）		
40	渡辺 浩	B	扇大橋～西新井橋 （荒川左岸河川敷）		

資料2 調査月別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	6	3	2	4	5	21
2	ペリカン	ウ	カワウ	77	27	50	365	357	181	1,057
3	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	0	0	2	0	0	0	2
4			アカガシラサギ	0	0	1	0	0	0	1
5			ダイサギ	3	12	15	23	1	1	55
6			コサギ	6	10	23	12	4	4	59
7			アオサギ	9	22	19	32	4	4	90
8	カモ	カモ	マガモ	14	0	0	6	6	11	37
9			カルガモ	113	126	131	161	132	123	786
10			コガモ	0	0	0	30	72	61	163
11			オカヨシガモ	0	0	0	0	1	0	1
12			ヒドリガモ	0	0	0	197	334	274	805
13			オナガガモ	0	0	0	114	61	108	283
14			ハシビロガモ	0	0	0	8	20	15	43
15			ホシハジロ	0	0	0	0	3	0	3
16			キンクロハジロ	0	0	0	0	15	7	22
17	タカ	タカ	トビ	0	0	0	1	0	0	1
18			オオタカ	0	0	0	0	0	1	1
19		ハヤブサ	ハヤブサ	0	0	0	0	0	2	2
20			チョウゲンボウ	0	1	9	5	3	1	19
21	ツル	クイナ	バン	12	13	3	27	16	15	86
22			オオバン	2	0	0	53	65	84	204
23	チドリ	チドリ	コチドリ	6	12	0	0	1	4	23
24			イカルチドリ	0	0	0	2	0	0	2
25			メダイチドリ	1	0	0	0	0	0	1
26		シギ	イソシギ	14	4	38	28	24	17	125
27			チュウシャクシギ	2	0	0	0	0	0	2
28			タシギ	2	0	0	2	3	3	10
29		カモメ	ユリカモメ	12	2	7	435	494	496	1,446
30			セグロカモメ	1	3	3	46	54	38	145
31			オオセグロカモメ	0	0	0	2	2	2	6
32			ウミネコ	0	13	30	19	31	5	98
33	コアジサシ		11	22	0	0	0	0	33	
34	ハト	ハト	シラコバト	0	0	0	0	0	1	1
35			キジバト	110	95	78	77	172	161	693
36	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	0	0	6	0	0	0	6
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	0	1	4	2	3	10
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	4	1	2	4	3	17

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
39	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	18	12	5	4	2	9	50
40		ツバメ	ツバメ	221	270	10	0	5	0	506
41			イワツバメ	6	30	0	0	0	0	36
42		セキレイ	ハクセキレイ	30	35	59	139	119	118	500
43			セグロセキレイ	0	0	0	2	0	0	2
44			タヒバリ	0	0	0	44	55	34	133
45		ヒヨドリ	ヒヨドリ	49	82	131	910	915	510	2,597
46		モズ	モズ	3	11	7	20	14	11	66
47		ツグミ	ジョウビタキ	0	0	0	22	24	16	62
48			ノビタキ	0	0	1	0	0	0	1
49			イソヒヨドリ	0	0	0	1	1	2	4
50			アカハラ	0	0	0	1	3	3	7
51			シロハラ	1	0	0	0	8	5	14
52			ツグミ	1	0	0	80	522	272	875
53		ウグイス	ウグイス	0	0	0	10	5	11	26
54			オオヨシキリ	25	22	0	0	0	0	47
55			セッカ	19	12	2	0	2	1	36
56		ヒタキ	コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1
57		シジュウカラ	ヒガラ	0	0	0	9	1	0	10
58			シジュウカラ	52	83	79	168	179	90	651
59		メジロ	メジロ	6	0	0	112	259	117	494
60		ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	0	18	31	49
61			カシラダカ	0	0	0	0	2	0	2
62			アオジ	1	0	0	24	37	46	108
63			オオジュリン	0	0	0	5	61	139	205
64	アトリ	カワラヒワ	109	51	14	170	190	159	693	
65		マヒワ	0	0	0	0	4	20	24	
66		ベニマシコ	0	0	0	0	3	1	4	
67		ウソ	0	0	0	5	0	0	5	
68		コイカル	0	0	0	0	0	2	2	
69		シメ	0	0	0	1	13	9	23	
70	ハタオリドリ	スズメ	1613	2159	2709	2725	2487	2335	14,028	
71	ムクドリ	コムクドリ	0	0	3	0	0	0	3	
72		ムクドリ	908	1970	1558	1160	1182	1045	7,823	
73	カラス	オナガ	139	168	188	179	167	149	990	
74		ハシボソガラス	142	150	122	169	145	184	912	
75		ハシブトガラス	175	149	210	248	230	211	1,223	
種名特定できず			サギSP	1	1	0	1	0	0	3
			カモメSP	0	1	1	1	0	0	3
			カラスSP	4	0	1	0	2	0	7
確認種個体数合計(羽)				3,922	5,578	5,521	7,863	8,540	7,160	38,584

【参考】

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)			セキセイインコ	0	0	1	0	0	0	1
			ワカケホンセイインコ	2	0	3	0	1	0	6

資料3 ブロック別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	0	5	16	0	0	21
2	ペリカン	ウ	カワウ	365	511	17	11	153	1,057
3	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	1	0	0	0	1	2
4			アカガシラサギ	0	0	0	0	1	1
5			ダイサギ	14	25	6	2	8	55
6			コサギ	24	18	9	3	5	59
7			アオサギ	35	23	6	5	21	90
8	カモ	カモ	マガモ	2	14	17	0	4	37
9			カルガモ	87	80	288	188	143	786
10			コガモ	41	24	95	1	2	163
11			オカヨシガモ	0	1	0	0	0	1
12			ヒドリガモ	421	3	113	36	232	805
13			オナガガモ	6	0	62	0	215	283
14			ハシビロガモ	0	0	39	4	0	43
15			ホシハジロ	0	0	3	0	0	3
16			キンクロハジロ	10	1	1	5	5	22
17	タカ	タカ	トビ	0	1	0	0	0	1
18			オオタカ	1	0	0	0	0	1
19		ハヤブサ	ハヤブサ	2	0	0	0	0	2
20			チョウゲンボウ	11	5	0	0	3	19
21	ツル	クイナ	バン	32	0	50	4	0	86
22			オオバン	84	55	53	0	12	204
23	チドリ	チドリ	コチドリ	6	17	0	0	0	23
24			イカルチドリ	0	2	0	0	0	2
25			メダイチドリ	0	1	0	0	0	1
26		シギ	イソシギ	40	63	6	1	15	125
27			チュウシャクシギ	0	2	0	0	0	2
28			タシギ	8	2	0	0	0	10
29		カモメ	ユリカモメ	574	274	30	0	568	1,446
30			セグロカモメ	56	25	3	3	58	145
31			オオセグロカモメ	0	6	0	0	0	6
32	ウミネコ		38	55	1	0	4	98	
33	コアジサシ		9	13	0	0	11	33	
34	ハト	ハト	シラコバト	1	0	0	0	0	1
35			キジバト	148	58	183	115	189	693
36	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	6	0	0	0	0	6
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	4	0	3	10
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	1	0	3	5	8	17

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
39	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	44	4	1	1	0	50	
40		ツバメ	ツバメ	213	99	60	38	96	506	
41			イワツバメ	0	24	0	12	0	36	
42		セキレイ	ハクセキレイ	182	134	63	48	73	500	
43			セグロセキレイ	0	0	0	0	2	2	
44			タヒバリ	53	79	1	0	0	133	
45		ヒヨドリ	ヒヨドリ	443	295	354	626	879	2,597	
46		モズ	モズ	19	20	20	1	6	66	
47		ツグミ	ジョウビタキ	15	9	7	12	19	62	
48			ノビタキ	0	0	0	0	1	1	
49			イソヒヨドリ	3	1	0	0	0	4	
50			アカハラ	0	1	3	0	3	7	
51			シロハラ	0	0	10	0	4	14	
52			ツグミ	313	222	111	80	149	875	
53			ウグイス	3	7	6	4	6	26	
54			ウグイス	オオヨシキリ	23	10	11	0	3	47
55				セッカ	23	11	2	0	0	36
56			ヒタキ	コサメビタキ	0	0	0	0	1	1
57		シジュウカラ	ヒガラ	0	0	0	0	10	10	
58			シジュウカラ	114	61	225	104	147	651	
59		メジロ	メジロ	78	107	56	82	171	494	
60		ホオジロ	ホオジロ	31	18	0	0	0	49	
61			カシラダカ	2	0	0	0	0	2	
62			アオジ	39	36	14	4	15	108	
63			オオジュリン	128	46	20	0	11	205	
64		アトリ	カワラヒワ	216	294	76	29	78	693	
65			マヒワ	0	0	20	0	4	24	
66			ベニマシコ	3	1	0	0	0	4	
67			ウソ	0	0	2	0	3	5	
68			コイカル	0	0	0	0	2	2	
69			シメ	3	5	3	0	12	23	
70		ハタオリドリ	スズメ	4095	1794	1703	2565	3871	14,028	
71		ムクドリ	コムクドリ	0	0	0	0	3	3	
72			ムクドリ	2120	2355	828	966	1554	7,823	
73		カラス	オナガ	120	42	165	194	469	990	
74			ハシボソガラス	161	123	239	234	155	912	
75			ハシブトガラス	245	141	161	216	460	1,223	
種名特定できず			サギSP	0	1	1	1	0	3	
			カモメSP	1	0	0	0	2	3	
			カラスSP	4	0	0	0	3	7	
確認種個体数合計 (羽)				10,717	7,227	5,167	5,600	9,873	38,584	

【参考】

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)			ワカケホンセイインコ	0	0	0	1	5	6
			セキセイインコ	1	0	0	0	0	1

資料4 平成24年5月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
2	カワウ	25	32	2	4	14	72	1	4	77
3	ダイサギ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
4	コサギ	2	3	0	0	1	5	1	0	6
5	アオサギ	2	5	0	1	1	9	0	0	9
6	マガモ	0	14	0	0	0	14	0	0	14
7	カルガモ	23	15	39	18	18	46	65	2	113
8	バン	4	0	8	0	0	4	8	0	12
9	オオバン	1	0	1	0	0	1	1	0	2
10	コチドリ	3	3	0	0	0	6	0	0	6
11	メダイチドリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
12	イソシギ	1	12	0	0	1	14	0	0	14
13	チュウシャクシギ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
14	タシギ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
15	ユリカモメ	1	11	0	0	0	12	0	0	12
16	セグロカモメ	0	0	0	1	0	1	0	0	1
17	コアジサシ	1	1	0	0	9	11	0	0	11
18	キジバト	16	5	27	25	37	7	64	39	110
19	ユゲラ	0	0	1	0	2	0	2	1	3
20	ヒバリ	15	2	0	1	0	17	0	1	18
21	ツバメ	91	41	32	12	45	127	37	57	221
22	イワツバメ	0	6	0	0	0	6	0	0	6
23	ハクセキレイ	17	10	1	1	1	26	1	3	30
24	ヒヨドリ	5	3	7	15	19	3	16	30	49
25	モズ	0	0	2	0	1	0	3	0	3
26	シロハラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
27	ツグミ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
28	オオヨシキリ	15	5	3	0	2	22	3	0	25
29	セッカ	11	8	0	0	0	19	0	0	19
30	シジュウカラ	4	5	18	13	12	2	28	22	52
31	メジロ	1	0	0	4	1	0	1	5	6
32	アオジ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
33	カワラヒワ	30	52	5	12	10	77	17	15	109
34	スズメ	403	171	187	341	511	316	607	690	1613
35	ムクドリ	254	196	64	124	270	447	249	212	908
36	オナガ	20	2	12	28	77	1	69	69	139
37	ハシボソガラス	27	22	33	32	28	43	57	42	142
38	ハシブトガラス	34	14	27	31	69	38	49	88	175
	合計	1007	646	470	663	1131	1355	1282	1280	3917
*	サギSP	0	0	0	1	0	0	0	1	1
*	ガラスSP	2	0	0	0	2	2	0	2	4
	総合計(羽)	1009	646	470	664	1133	1357	1282	1283	3922

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

NO	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	0	0	2	0	0	2	2

資料5 平成24年7月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	6	0	0	0	6	0	6
2	カワウ	8	8	0	2	9	25	1	1	27
3	ダイサギ	2	6	2	1	1	10	1	1	12
4	コサギ	3	5	1	0	1	9	1	0	10
5	アオサギ	7	3	1	3	8	18	2	2	22
6	カルガモ	5	11	62	18	30	45	77	4	126
7	チョウゲンボウ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
8	バン	0	0	10	3	0	0	13	0	13
9	コチドリ	2	10	0	0	0	12	0	0	12
10	イソシギ	0	1	1	0	2	4	0	0	4
11	ユリカモメ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
12	セグロカモメ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
13	ウミネコ	6	2	1	0	4	13	0	0	13
14	コアジサシ	8	12	0	0	2	22	0	0	22
15	キジバト	28	9	17	11	30	13	27	55	95
16	コゲラ	1	0	1	0	2	0	3	1	4
17	ヒバリ	12	0	0	0	0	12	0	0	12
18	ツバメ	116	52	25	26	51	162	44	64	270
19	イワツバメ	0	18	0	12	0	18	12	0	30
20	ハクセキレイ	16	9	4	1	5	23	3	9	35
21	ヒヨドリ	3	16	16	10	37	7	27	48	82
22	モズ	0	0	11	0	0	0	11	0	11
23	オオヨシキリ	8	5	8	0	1	14	8	0	22
24	セッカ	10	2	0	0	0	12	0	0	12
25	シジュウカラ	13	3	26	12	29	2	46	35	83
26	カワラヒワ	10	13	8	3	17	19	16	16	51
27	スズメ	637	169	215	411	727	494	687	978	2159
28	ムクドリ	611	631	159	253	316	1098	606	266	1970
29	オナガ	33	5	17	35	78	0	94	74	168
30	ハシボソガラス	28	11	47	38	26	38	63	49	150
31	ハシブトガラス	30	13	21	26	59	25	39	85	149
	合計	1600	1016	659	865	1436	2100	1788	1688	5576
*	サギSP	0	1	0	0	0	1	0	0	1
*	カモメSP	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	総合計(羽)	1601	1017	659	865	1436	2102	1788	1688	5578

資料6 平成24年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
2	カワウ	6	23	1	2	18	45	4	1	50
3	ゴイサギ	1	0	0	0	1	2	0	0	2
4	アカガシラサギ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
5	ダイサギ	5	6	1	1	2	14	1	0	15
6	コサギ	13	4	5	0	1	21	1	1	23
7	アオサギ	9	4	2	1	3	16	2	1	19
8	カルガモ	15	21	45	23	27	66	55	10	131
9	チョウゲンボウ	7	2	0	0	0	7	0	2	9
10	バン	0	0	2	1	0	0	3	0	3
11	イソシギ	16	16	3	0	3	38	0	0	38
12	ユリカモメ	1	6	0	0	0	7	0	0	7
13	セグロカモメ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
14	ウミネコ	26	4	0	0	0	30	0	0	30
15	キジバト	17	11	12	24	14	12	25	41	78
16	ヒメアマツバメ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
17	カワセミ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
18	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
19	ヒバリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
20	ツバメ	6	1	3	0	0	7	3	0	10
21	ハクセキレイ	25	18	2	1	13	39	11	9	59
22	ヒヨドリ	25	7	17	22	60	33	41	57	131
23	モズ	3	0	2	0	2	6	1	0	7
24	ノビタキ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
25	セッカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
26	コサメビタキ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
27	シジュウカラ	9	15	29	9	17	21	44	14	79
28	カワラヒワ	0	14	0	0	0	10	0	4	14
29	スズメ	888	427	376	394	624	1104	685	920	2709
30	コムクドリ	0	0	0	0	3	2	0	1	3
31	ムクドリ	241	552	205	277	283	803	374	381	1558
32	オナガ	7	5	15	64	97	4	111	73	188
33	ハシボソガラス	17	13	25	40	27	45	34	43	122
34	ハシブトガラス	65	17	29	37	62	60	62	88	210
	合計	1416	1169	777	896	1261	2411	1462	1646	5519
*	カモメSP	0	0	0	0	1	1	0	0	1
*	カラスSP	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	総合計(羽)	1416	1169	777	896	1263	2412	1462	1647	5521

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	セキセイインコ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
*	ワカケホンセイインコ	0	0	0	0	3	0	0	3	3

資料7 平成24年11月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
2	カワウ	101	220	3	0	41	353	0	12	365
3	ダイサギ	5	10	3	0	5	23	0	0	23
4	コサギ	6	3	1	1	1	11	1	0	12
5	アオサギ	15	8	3	0	6	30	1	1	32
6	マガモ	0	0	2	0	4	0	4	2	6
7	カルガモ	5	2	62	65	27	88	53	20	161
8	コガモ	13	0	15	0	2	30	0	0	30
9	ヒドリガモ	123	0	25	0	49	183	14	0	197
10	オナガガモ	2	0	13	0	99	2	112	0	114
11	ハシビロガモ	0	0	4	4	0	4	4	0	8
12	トビ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
13	チョウゲンボウ	1	2	0	0	2	5	0	0	5
14	バン	19	0	8	0	0	22	5	0	27
15	オオバン	20	21	12	0	0	48	5	0	53
16	イカルチドリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
17	イソシギ	11	14	0	0	3	27	0	1	28
18	タシギ	2	0	0	0	0	0	0	2	2
19	ユリカモメ	226	84	8	0	117	435	0	0	435
20	セグロカモメ	15	8	2	0	21	46	0	0	46
21	オオセグロカモメ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
22	ウミネコ	2	17	0	0	0	19	0	0	19
23	キジバト	13	5	12	16	31	7	33	37	77
24	カワセミ	0	1	2	0	1	3	1	0	4
25	コゲラ	0	0	0	2	0	0	2	0	2
26	ヒバリ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
27	ハクセキレイ	52	47	16	14	10	100	25	14	139
28	セグロセキレイ	0	0	0	0	2	0	0	2	2
29	タヒバリ	20	24	0	0	0	44	0	0	44
30	ヒヨドリ	145	139	130	228	268	201	363	346	910
31	モズ	8	8	2	1	1	14	3	3	20
32	ジョウビタキ	6	1	5	4	6	6	3	13	22
33	イソヒヨドリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
34	アカハラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
35	ツグミ	29	14	14	1	22	46	25	9	80
36	ウグイス	0	3	2	0	5	3	3	4	10
37	ヒガラ	0	0	0	0	9	0	9	0	9
38	シジュウカラ	18	15	88	13	34	22	91	55	168
39	メジロ	20	14	6	21	51	8	35	69	112
40	アオジ	11	1	5	2	5	19	5	0	24
41	オオジュリン	0	5	0	0	0	5	0	0	5
42	カワラヒワ	25	72	35	4	34	117	34	19	170
43	ウソ	0	0	2	0	3	2	3	0	5
44	シメ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
45	スズメ	847	389	444	401	644	1001	694	1030	2725
46	ムクドリ	487	217	109	72	275	646	224	290	1160
47	オナガ	14	13	76	26	50	16	51	112	179
48	ハシボソガラス	36	18	58	34	23	56	74	39	169
49	ハシブトガラス	42	41	44	39	82	53	95	100	248
	合計	2343	1422	1214	948	1934	3705	1976	2180	7861
*	サギSP	0	0	1	0	0	0	0	1	1
*	カモメSP	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	総合計(羽)	2343	1422	1215	948	1935	3706	1976	2181	7863

資料8 平成25年1月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	2	2	0	0	2	2	0	4
2	カワウ	143	156	8	3	47	346	4	7	357
3	ダイサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
4	コサギ	0	1	0	2	1	1	3	0	4
5	アオサギ	1	2	0	0	1	4	0	0	4
6	マガモ	0	0	6	0	0	6	0	0	6
7	カルガモ	13	11	35	53	20	94	38	0	132
8	コガモ	16	3	52	1	0	65	7	0	72
9	オカヨシガモ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
10	ヒドリガモ	126	3	43	36	126	306	28	0	334
11	オナガガモ	2	0	42	0	17	2	59	0	61
12	ハシビロガモ	0	0	20	0	0	17	3	0	20
13	ホシハジロ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
14	キンクロハジロ	4	1	0	5	5	15	0	0	15
15	チョウゲンボウ	2	1	0	0	0	1	0	2	3
16	バン	6	0	10	0	0	10	6	0	16
17	オオバン	17	21	17	0	10	53	12	0	65
18	コチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
19	イソシギ	7	10	1	1	5	24	0	0	24
20	タシギ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
21	ユリカモメ	106	68	7	0	313	490	3	1	494
22	セグロカモメ	19	10	0	0	25	53	0	1	54
23	オオセグロカモメ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
24	ウミネコ	3	28	0	0	0	31	0	0	31
25	キジバト	35	7	87	9	34	28	108	36	172
26	カワセミ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
27	コゲラ	0	0	0	3	1	0	4	0	4
28	ヒバリ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
29	ツバメ	0	5	0	0	0	5	0	0	5
30	ハクセキレイ	38	26	18	13	24	79	22	18	119
31	タヒバリ	13	42	0	0	0	55	0	0	55
32	ヒヨドリ	210	99	118	198	290	137	341	437	915
33	モズ	4	8	1	0	1	12	2	0	14
34	ジョウビタキ	6	5	2	3	8	11	8	5	24
35	イソヒヨドリ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
36	アカハラ	0	1	0	0	2	2	1	0	3
37	シロハラ	0	0	6	0	2	0	8	0	8
38	ツグミ	179	153	54	61	75	305	165	52	522
39	ウグイス	2	1	1	1	0	3	1	1	5
40	セッカ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
41	ヒガラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
42	シジュウカラ	40	9	46	44	40	50	65	64	179
43	メジロ	39	68	35	33	84	35	97	127	259
44	ホオジロ	15	3	0	0	0	18	0	0	18
45	カシラダカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
46	アオジ	17	6	5	0	9	32	3	2	37
47	オオジュリン	46	1	8	0	6	61	0	0	61
48	カワラヒワ	58	113	14	2	3	167	8	15	190
49	マヒワ	0	0	0	0	4	0	4	0	4
50	ベニマシコ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
51	シメ	2	4	1	0	6	5	7	1	13
52	スズメ	675	390	264	485	673	692	686	1109	2487
53	ムクドリ	274	404	197	112	195	570	356	256	1182
54	オナガ	21	12	33	13	88	19	71	77	167
55	ハシボソガラス	26	27	34	36	22	46	59	40	145
56	ハシブトガラス	40	35	19	38	98	57	65	108	230
	合計	2216	1741	1192	1152	2237	3927	2251	2360	8538
*	カラスSP	2	0	0	0	0	0	0	2	2
	総合計(羽)	2218	1741	1192	1152	2237	3927	2251	2362	8540

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

NO	種名	地域ブロック別					区分場所別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
*	ワカケホンセイインコ	0	0	0	1	0	0	0	1	1

資料9 平成25年3月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	カイツブリ	0	3	2	0	0	4	1	0	5
2	カワウ	82	72	3	0	24	175	2	4	181
3	ダイサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	コサギ	0	2	2	0	0	2	0	2	4
5	アオサギ	1	1	0	0	2	4	0	0	4
6	マガモ	2	0	9	0	0	10	1	0	11
7	カルガモ	26	20	45	11	21	70	26	27	123
8	コガモ	12	21	28	0	0	61	0	0	61
9	ヒドリガモ	172	0	45	0	57	243	21	10	274
10	オナガガモ	2	0	7	0	99	2	106	0	108
11	ハシビロガモ	0	0	15	0	0	13	2	0	15
12	キンクロハジロ	6	0	1	0	0	6	1	0	7
13	オオタカ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
14	ハヤブサ	2	0	0	0	0	0	0	2	2
15	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
16	バン	3	0	12	0	0	10	4	1	15
17	オオバン	46	13	23	0	2	78	6	0	84
18	コチドリ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
19	イソシギ	5	10	1	0	1	17	0	0	17
20	タシギ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
21	ユリカモメ	240	103	15	0	138	496	0	0	496
22	セグロカモメ	18	5	1	2	12	32	0	6	38
23	オオセグロカモメ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
24	ウミネコ	1	4	0	0	0	5	0	0	5
25	シラコバト	1	0	0	0	0	0	0	1	1
26	キジバト	39	21	28	30	43	45	52	64	161
27	カワセミ	0	1	1	0	1	2	1	0	3
28	コゲラ	0	0	1	0	2	0	3	0	3
29	ヒバリ	7	1	1	0	0	9	0	0	9
30	ハクセキレイ	34	24	22	18	20	73	24	21	118
31	タヒバリ	20	13	1	0	0	34	0	0	34
32	ヒヨドリ	55	31	66	153	205	55	204	251	510
33	モズ	4	4	2	0	1	9	1	1	11
34	ジョウビタキ	3	3	0	5	5	4	6	6	16
35	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
36	アカハラ	0	0	2	0	1	0	3	0	3
37	シロハラ	0	0	4	0	1	0	5	0	5
38	ツグミ	105	55	43	18	51	165	83	24	272
39	ウグイス	1	3	3	3	1	8	2	1	11
40	セッカ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
41	シジュウカラ	30	14	18	13	15	36	34	20	90
42	メジロ	18	25	15	24	35	21	47	49	117
43	ホオジロ	16	15	0	0	0	31	0	0	31
44	アオジ	11	28	4	2	1	43	3	0	46
45	オオジュリン	82	40	12	0	5	138	1	0	139
46	カワラヒワ	93	30	14	8	14	111	25	23	159
47	マヒワ	0	0	20	0	0	0	20	0	20
48	ベニマシコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
49	コイカル	0	0	0	0	2	0	2	0	2
50	シメ	1	1	2	0	5	1	6	2	9
51	スズメ	645	248	217	533	692	540	607	1188	2335
52	ムクドリ	253	355	94	128	215	570	254	221	1045
53	オナガ	25	5	12	28	79	4	79	66	149
54	ハシボソガラス	27	32	42	54	29	60	62	62	184
55	ハシブトガラス	34	21	21	45	90	45	70	96	211
	合計	2130	1232	854	1075	1869	3248	1764	2148	7160

資料10 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	
2			ハジロカイツブリ								
3			カンムリカイツブリ				2	1			
4	ペリカン	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	
5	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ				1		5		
6			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	
7			ササゴイ	1		1	4	5	4	8	
8			アカガシラサギ								
9			アマサギ					1			
10			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	
11			チュウサギ			2	2			1	
12			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	
13			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	
*					サギSP						
14	カモ	カモ	オオハクチョウ							4	
15			コハクチョウ								4
16			オシドリ							1	
17			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	
18			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	
19			トモエガモ								
20			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	
21			ヨシガモ		29						
22			オカヨシガモ		22	13	18	11	6	17	
23			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	
24			アメリカヒドリ								
25			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	
26			ハシビロガモ		54	73	94	23	32	10	
27			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	
28			アカハジロ		4						
29			オオホシハジロ				1				
30			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	
31			スズガモ			2					
*					カモH					1	
*					アメリカヒドリH						
*			カモSP					31	46		
*			ハクチョウSP								
32	タカ	タカ	トビ		2	2					
33			オオタカ								
*			タカSP								
34			ハヤブサ	ハヤブサ				1			
35				チョウゲンボウ	1		9	32	28	27	29
36	キジ	キジ	コジュケイ			1					
37			キジ			5	5	4	5	6	
38	ツル	クイナ	クイナ								
39			バン		94	100	78	89	76	103	
40			オオバン		1	8	6		4	6	
41	チドリ	チドリ	コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	
42			イカルチドリ								
43			シロチドリ			7	1		4		
44			メダイチドリ			1					
45			ダイゼン								
46			タゲリ								
47		シギ	ハマシギ				1				
48			タカブシギ		1						
49			キアシシギ	2	2	1					
50			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	
51			セイタカシギ								

No	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1	17	19	4	12	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21
2				1		1	1				1	2		
3		1		2				2		1	12			
4	1,917	2,075	1,325	1,716	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057
5		1		3	1	4	2	1					1	
6	29	34	17	15	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2
7	5	3	1	4	10	2	14	5	2		2	1		
8														1
9		7	1						1	1				
10	56	78	62	57	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55
11			3	1		1			7	37	15			
12	131	120	115	82	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59
13	55	75	95	72	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90
*			1	1	1						1		1	3
14														
15												13		
16									2					
17	9	24	10	1	3	6		4	5		5	11	7	37
18	642	1,077	1,176	763	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786
19											1			
20	94	224	227	383	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163
21			3	5	4		1							
22	54	51	39	63	33	59	40	14	15		8	6	1	1
23	376	568	932	1,511	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805
24		1	2											
25	458	608	508	275	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283
26			11	2	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43
27	185	340	177	176	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3
28														
29				1										
30	93	150	85	94	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22
31		2	4				3	1	1			4	1	
*		1	1			1		1					10	
*								1						
*	9	87	6	1	2	2		1	5		2	2	1	
*							10	1						
32	4	1	1	2	2	3			1	3			1	1
33		2		1	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1
*	1										6	1		
34		1			4						2	1	1	2
35	35	44	32	78	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19
36														
37	4								1					
38				1						1	2	1		
39	69	67	59	54	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86
40	3	9	13	32	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204
41	20	23	11	15	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23
42					1						5		4	2
43			1							8	1			
44											4	17	27	1
45				2										
46				2			1							
47			2										1	
48														
49		3	2	2	6	11	11	19	24	3	7	9	25	
50	34	49	51	39	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125
51							1	3	3		2			

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
52	チドリ	シギ	アカエリヒレアシシギ							
53			オオソリハシシギ					1		
54			チュウシャクシギ							
55			タシギ				4	2	2	1
*			シギS P							
56		カモメ	ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636
57			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261
58			オオセグロカモメ							
59			シロカモメ							
60			カモメ		26	13	28	4	53	6
61			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307
62			ミツユビカモメ							
63			アジサシ						4	
64			コアジサシ	9		56	46	75	163	64
*			カモメS P					3	7	1
65	ハト	ハト	シラコバト			3			1	
66			キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934
67			アオバト					1		
68	カッコウ	カッコウ	カッコウ	1						
69			ツツドリ							
70			ホトトギス				1			
*			カッコウS P							1
71	フクロウ	フクロウ	トラフズク						2	
72			コミミズク		1	4	2	14	3	
73			アオバズク							
74	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ						4	
75			アマツバメ							
76	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		3		3	4	8	
77	キツツキ	キツツキ	アカゲラ							
78			コゲラ	3	11	7	25	7	23	35
79	スズメ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	
80		ツバメ	ショウドウツバメ							
81			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509
82			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73
83		セキレイ	キセキレイ		1		2			
84			ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606
85			セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1
86			ビンズイ							
87			タヒバリ		1	39	40	52	30	5
88		ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	
89		モズ	9	37	50	57	36	32	63	
90		レンジャク	キレンジャク					73		
91			ヒレンジャク							
92		ツグミ	ルリビタキ							
93			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57
94	ノビタキ				1	2	2	5		
95	サバクヒタキ					2		3		
96	イソヒヨドリ				1					
97	アカハラ				6	1	2	1	1	
98	シロハラ					1	3		5	
99	ツグミ		123	277	485	573	707	584	513	
100	ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	
101		コヨシキリ							1	
102		オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	
103		メボソムシクイ			1				1	
104		センダイムシクイ		1						
105		セッカ	9	18	41	71	67	65	58	
*		ウグイスS P								

No	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
52							1							
53														
54									3	5	7	5	5	2
55					2				1		3	4	18	10
*						1	1		2					
56	6,677	7,809	9,297	7,376	6,200	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,446
57	265	419	413	307	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145
58	1	3	19	10	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6
59		1												
60	8	12			2	3	4	13	5			1		
61	343	482	610	319	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98
62						1								
63					4									
64	29	34	81	21	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33
*	3	4				84		3	2	3	32	84	19	3
65									4	2	1			1
66	997	1,065	1,019	1,078	1,127	942	917	881	757	723	675	607	688	693
67														
68		1	1											
69						1								
70								1						
*														
71														
72					1									
73								1						
74	12						23	8	22		11		15	6
75				1		1								
76	3	5	8	6	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10
77			1											
78	36	14	12	21	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17
79	140	180	193	197	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50
80			77											
81	364	391	711	492	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506
82	64	79	44	25	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36
83					1						1		1	
84	604	708	678	755	591	698	684	676	677	631	536	562	556	500
85	4		2					1				1		2
86													1	
87	1	10	14	5	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133
88	2,475	3,008	3,245	3,213	3,435	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597
89	40	45	48	56	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66
90														
91												4		
92				2						1				
93	57	45	67	90	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62
94					2			1	1	5		1	9	1
95														
96		1					1		5	1	5	3	2	4
97		4	4	4	5	6		9	6	6	6	3		7
98	2	7	7	7	1	12		16	3	9	11	6	2	14
99	483	565	599	889	617	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875
100	42	37	51	47	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26
101	1													
102	73	128	97	104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47
103														
104									1					
105	56	104	90	57	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36
*				1										

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10		
106	スズメ	ヒタキ	キビタキ	1	2	1	1	3	1			
107			オジロビタキ									
108			オオルリ			1						
109			サメビタキ					1				
110			エゾビタキ									
111			コサメビタキ		1			9	1	1		
*					ヒタキSP							2
112			エナガ	エナガ								
113			ツリスガラ	ツリスガラ						9		3
114			シジュウカラ	コガラ						1		1
115				ヒガラ					1			
116	ヤマガラ											
117	シジュウカラ			49	147	221	108	211	106	142		
118	メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347			
119	ホオジロ	ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57			
120		ホオアカ										
121		キマユホオジロ					1					
122		カシラダカ				22			9	2		
123		アオジ				66	60	128	75	111		
124		クロジ								1		
125		シベリアジュリン							1			
126		オオジュリン		2	49	42	106	167	86	164		
127		アトリ	アトリ									
128	カワラヒロ			256	552	566	455	822	506	429		
129	マヒロ					2		184				
130	ベニマシコ											
131	ウソ									1		
132	コイカル											
133	シメ				3	7		6	6	9		
134	ハタオリドリ	ニューナイスズメ										
135		スズメ		3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487		
136	ムクドリ	コムクドリ										
137		ムクドリ		1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323		
138	カラス	カケス			3							
139		オナガ		412	493	618	742	532	489	417		
140		ハシボソガラス		111	353	389	772	673	781	788		
141		ハシブトガラス		404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674		
*		カラスSP							1	10	10	
総合計(羽)				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824		

【参考】かご抜け(家禽やペットが野生化したもの)

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	
*	かご抜け (家禽やペットが野生化したもの)		ベニスズメ						9	12	
*			ワカケホンセイインコ								
*			セキセイインコ								
*			アヒル								
総合計(羽)				0	0	0	0	0	9	12	

※種名にSPとあるものは、種名まで確認できなかったもの

※種名にHとあるものは交雑種(hybrid)、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後にHをつけている

No	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
106	5		2		1	1	1		1	2	3		2	
107					1									
108						1								
109						4								
110	1							1						
111	2	1	1	1			1	1				1	1	1
*					1									
112			1					6						
113						2								
114	1					31			4		9	18	4	
115	1			1									2	10
116	2				4	1		10						
117	180	121	230	179	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651
118	361	223	436	545	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494
119	41	66	62	99	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49
120	1	1											1	
121														
122	1	5	3	1	3	2	9			1		11	3	2
123	114	106	175	160	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108
124														
125			1											
126	54	127	297	190	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205
127				3						14				
128	463	554	748	907	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693
129		2		12								3		24
130				3	3	4		1			2			4
131														5
132														2
133	13	2	21	9	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23
134						16								
135	15,329	18,003	18,171	18,821	15,919	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028
136	9		71		70	38	6	30	24	31	18	13	38	3
137	5,070	6,566	6,728	6,913	7,024	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823
138						1								
139	318	557	545	630	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990
140	836	1,397	1,456	1,340	1,229	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912
141	2,189	2,910	3,899	3,725	3,936	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223
*	39	10				10	30	12	32	121	125	59	27	7
計	42,110	51,557	55,212	54,091	50,794	46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584

No	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
*	3	24	2	2										
*						1	9	4	4	9	3	9	16	6
*										2	1	3		1
*									1					
計	3	24	2	2	0	1	9	4	5	11	4	12	16	7

※参考

《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成24年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41

資料11 平成24年度 野鳥モニター活動記録

- 4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
- 4月21日（土）野鳥モニター基礎研修会
- 5月 野鳥生息調査（1回目）
- 7月11日（水）野鳥モニター調査報告会（23年度調査分）
- 7月 野鳥生息調査（2回目）
- 9月 野鳥生息調査（3回目）
- 9月23日（日）「あだち自然体験デー」の探鳥ブースに参加
- 11月 野鳥生息調査（4回目）
- 12月16日（日）野鳥モニター研修会（舎人公園）
- 1月 野鳥生息調査（5回目）
- 3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



基礎研修会



研修会



研修会

IV 調査時に気がついたこと

1 特異な野鳥の生態・習性

月日	種名	場所	生態・習性	確認モニター名
	該当なし			

2 その他、24年度の調査で気がついたこと

月日	事項	確認モニター名
	該当なし	